

文化を創る、フラッグシップ。

2017 秋

GRANSHIP

グランシップマガジン vol.11



特集

ウラディーミル・フェドセーエフ指揮 チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ
パリ管弦楽団ブラス・クインテット

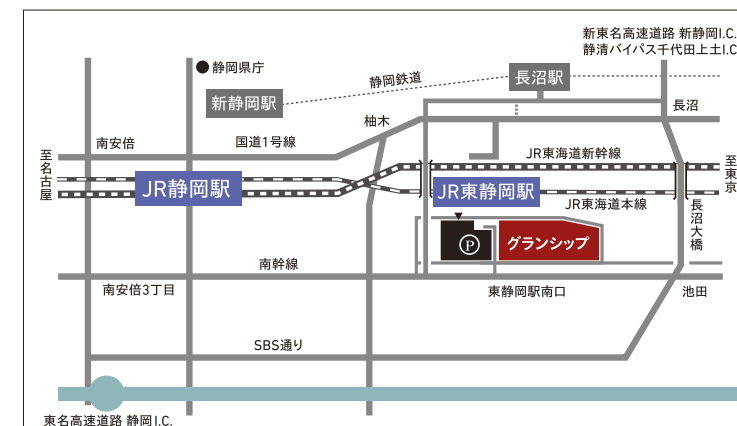
秋、世界の一流をグランシップで聴く。

GRANSHIP グランシップマガジン vol.11 2017年9月15日発行

公益財団法人 静岡県文化財団



ショーウィンドウ前



ACCESS

- JR東静岡駅南口隣接
静岡鉄道長沼駅から徒歩10分
- 東海道新幹線(ひかり)で
東京・名古屋から1時間、新大阪から2時間
JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分
- 車では東名高速道路 静岡I.C.から20分
新東名高速道路 新静岡I.C.から15分
静岡バイパス千代田上土I.C.から10分
- 富士山静岡空港から静鉄バス
(静岡エアポートライナー)で静岡駅まで55分
JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分

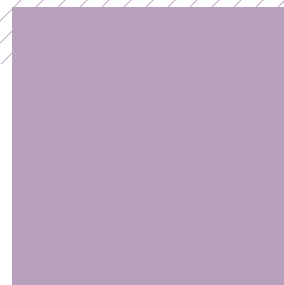
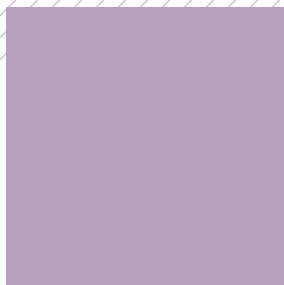
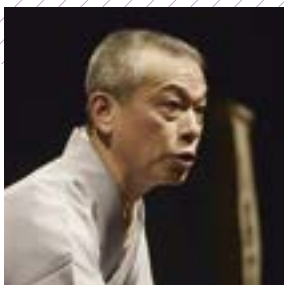


ふじのくに
芸術回廊

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 指定管理者 公益財団法人静岡県文化財団

〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田79-4 TEL.054-203-5714 FAX.054-203-5716 <http://www.granship.or.jp>

※平成29年10月より住居表示実施によりグランシップの住所が変更になります。



GRANSHIP Contents

04	Feature ウラディミール・フェドセーエフ指揮 チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ パリ管弦楽団 プラス・クインテット
	秋、世界の一流をグランシップで聴く。
08	GRANSHIP Feature Stage グランシップ プレミアム・クリスマス・ジャズ・ライブ 小曽根真 featuring No Name Horses
	Interview スペシャルインタビュー！谷川俊太郎
10	僕個人にとっては大岡を追悼する会。 でも、連詩は「宴」だから、楽しくなさや。
	Pick up1 人間以上に表現豊かな奥ゆかしき人形劇
12	人形浄瑠璃 文楽
	Column 岩下尚史の伝統芸は知るものではなく、身につけるもの。 Vol.11 ホンモノとニセモノとは？
14	Pick up2 大衆芸能を堪能しよう グランシップ 寄席く噺に生きるおんなの功く
15	Pick up3 クラシックで新年に彩りを 静岡ガス PRESENTS グランシップ&静岡響 ニューイヤークンサート vol.16
16	GRANSHIP Event Calendar 2017年10月～12月 グランシップイベントカレンダー
20	Outreach グランシップ子どもアート体験！学校プログラム 『人形浄瑠璃 文楽』出前講座
21	Information 第21期グランシップサポーター募集中！
22	Information グランシップ友の会 会員募集中！ レストラン・カフェがオープンしました！
23	Introduction ふじのくに文化情報センター通信 vol.10
24	Introduction 駿河半紙技術研究会 & 梅園ジャカランダ遊歩道を美守る会 ごともに、大人に、きちんと伝えよう 地域の文化
25	Introduction 地域の活性化に取り組む文化施設 さあ、行こう！あなたの街で文化の幕開け
26	Exhibition 歩いて、出会って、こころなごむ、静岡の秋 2017年10月～12月のイベント情報
30	Information SPAC 阿部一徳 5年ぶりの再演となる『病は気から』への意気込みを聞いた。
32	Information 静岡県立美術館「秋の県立美術館、ロダン没後100年に寄せて」 「美しき庭園画の世界」
34	Introduction 貸施設のご案内 多彩なレイアウトを実現する会議ホール・風
35	Information & Communication

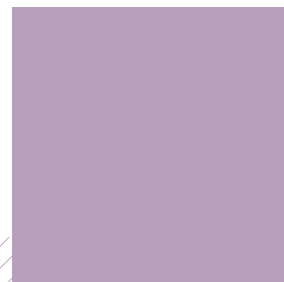
表紙の絵



浦田周社《明けゆく》1998年 388×520mm 木版画

浦田周社（うらた かねたか）

1939年静岡市生まれ。高校卒業後、家業である浮世絵処「版隈」六世を継ぐ。1976年文化庁認定重要民俗文化財選定保存技術保持者に認定。浮世絵木版画彫摺技術保存協会会員となる。1994年静岡市芸術文化奨励賞受賞。1999年静岡県文化奨励賞受賞。2016年静岡県知事表彰受賞。2016年静岡産業大学内に「浦田周社木版画美術館」開館。構想から彫り、摺りまで自ら手がけ作品を制作する一方、伝統技法の継承保存や版画の伝承、普及に尽力する。白日会会員、国際浮世絵学会会員、東京伝統木版画工芸協会会員、静岡県版画協会顧問。



秋、世界の一流をグランシップで聴く。

世界の音楽をその国の一流オーケストラやアーティストが演奏する、この秋の2大コンサートを聴き逃しなく。

01

ウラディーミル・フェドセーエフが率いる、 チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ。

ロシアの作曲家・チャイコフスキーの作品をロシアの楽団が演奏する、
ましてや国が誇る偉大な作曲家の名を掲げたオーケストラということは、
それは“本物”と誰もが疑わないであろう。

三大バレエのセレクションは静岡の方々から強力なラブコールをいただいたので、特別に私自身で選びました。組曲になっている有名なものだけでなく、私のお薦めの素敵なお曲達を皆様にも好きになっていただければ嬉しいです。曲順にも注目いただいて、バレエの物語を思い思いに想像してみてください。
日本の皆様は世界中の誰よりもチャイコフスキーの音楽を愛してくださっていると私は思います。そんな皆様にこれらの名曲について、あえて言うべきことはありませんよね。皆様のためにオーケストラ一同、心をこめて演奏いたしますので、どうぞ会場にいらしてください。

—ウラディーミル・フェドセーエフ

40

年以上にわたりチャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ（旧モスクワ放送交響楽団）の芸術監督及び首席指揮者をつとめるマエストロ、ウラディーミル・フェドセーエフが同楽団を率いて、この秋グランシップに登場します。ロシア国内に数あるオーケストラの中のトップクラスとして、数々の世界ツアーの経験から海外での評価も確立。演奏される作品は、ロシアの偉大な作曲家・チャイコフスキーの第6番「悲愴」。独創的な4つの楽章で構成され、オーケストラならではの重厚さ、様々な楽器を使用した表現力を堪能できるテッパンのプログラム。チャイコフスキー最大の自信作でありながら、初演9日後に急死したため、名作曲家最後の大作としても知られ、現在でも世界各地で演奏されています。他にも、今回のコンサートのためにフェドセーエフ自らが選曲したチャイコフスキーの三大バレエ音楽「白鳥の湖」、「眠りの森の美女」、「くるみ割り人形」は、音楽の教科書でのなじみも深く、映画やCMなどで使用されることも多いため、誰もが一度は聴いた事のあるメロディ。美しく劇的な旋律と華麗なオーケストレーション、バレエ音楽ならではのファンタジックな世界観は、オーケストラ演奏ならではの至極のひとつとなることでしょう。クラシック音楽を楽しむ方法は様々ですが、ビギナーこそ一流の演奏を聴くべきだということはよく耳にすること。グランシップ公演では、こども・学生のチケット料金は1,000円。一流の楽団が来静するチャンスに本格的なオーケストラデビューをしてみませんか。



©Anja Köhler



ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー
1840—1893

チャイコフスキーその人生と音楽

ピョートル・イリイチ・チャイコフスキーは1840年、鉱山技師を父に7人兄弟の次男としてロシアのウラル地方に生まれました。幼い時から音楽に強い感受性を見せていましたが、父親の意向でペテルブルグの法律学校に入学し、1859年に法務省事務官の職に就きます。今でいう役人の仕事です。その翌年、尊敬するアントン・ルービンSTEINがペテルブルグに開いた音楽院に入り、職を辞して音楽家への道を歩み始めます。それは安定から不安定な生活への転向でもありました。23歳の時です。卒業後、モスクワに開設された音楽院に招かれ、音楽理論の講師として自活への一歩を踏み出します。1876年から14年にわたって富豪の未亡人ナジェジダ・フォン・メック夫人から年金の形で高額の資金援助を受ける幸運を得ます。しかし二人は手紙を交わすだけで、生涯直接会うことはありませんでした。1877年、チャイコフスキーはアントニナ・イワノヴナと結婚しますが、その結婚生活はうまくいかず、精神的に追い詰められてモスクワ川で自殺を図るほどでした。1878年にモスクワ音楽院を辞めてからは、欧米諸国を旅しながらモスクワ近郊を拠点に作曲に専念します。オペラ、交響曲、バレエ音楽等の作品が世界に広く知られるようになり、米国のカーネギーホール（こけら）の柿落としに招かれ、またケンブリッジ大学からは名誉博士号を授与されました。1893年10月に「悲愴交響曲」を自らの指揮で初演の直後、チャイコフスキーは突然53歳の生涯を閉じます。あまりに急な死だったので、その死因は当時も、また20世紀に入ってから様々な憶測を呼びました。現在ではコレラを原因とした病死説が有力です。

叙情的でメランコリックなメロディーの豊かさ、絢爛豪華なオーケストラ展開の作曲法、そして次々と主題がグルーピングするような奔放なリズムの流れが魅力で、母国ロシアだけでなくわが国にも多くのファンがいる身近な作曲家のひとりと言えましょう。日本人入賞者もいるチャイコフスキー国際音楽コンクールにその名を冠しています。

（グランシップ芸術監督 中村 透）

ウラディーミル・フェドセーエフ指揮 チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ

11/4(土) 15:00～ ■中ホール・大地

■ S席12,300円 A席9,800円
B席7,200円 こども・学生1,000円

【曲目】
交響曲第6番「悲愴」 作品74「悲愴」、
三大バレエ～フェドセーエフ・セレクション～「くるみ割り人形」より 花のワルツ、
箏笛の踊り、ロシアの踊り、終幕の踊り、アラビアの踊り、祖父の踊り、子守歌、
情景・深夜～クリスマスツリー、「眠りの森の美女」より パノラマ、ワルツ、
「白鳥の湖」より ポーランドの踊り、ナボリの踊り、スペインの踊り

パリ管弦楽団は1968年に、その母体であったパリ音楽院管弦楽団を発展的に解消させて、フランスが国家の威信をかけて設立したオーケストラ。設立時の総裁の一人はアンドレ・マルロー（フランスの作家、ドゴール政権時代の文化大臣）であったことから、いかにこのオーケストラに期待が寄せられていたかがうかがい知れます。初代の音楽監督はフランスの名指揮者シャルル・ミュンシュ（小澤征爾の恩師としても知られています）。当時のアーカイブでは、リハール嫌いで指揮がきまぐれだったと言われるミュンシュが「リハールに勝る練習はない」と断言。また「フランスのオーケストラにはフランス音楽を演奏するための伝統的な音色が残っている」とも語っています。時が経つにつれてオーケストラメンバーの国際化が進み、世界の著名オーケストラの自国出身メンバーの占める割合が低くなる一方で、パリ管弦楽団はその伝統の音色を引き継いでおり、柔らかいサウンドに酔いしれる多くのファンがいます。



称されるクラシック音楽の作曲家を擁護していました。それと同じように、フランス人であり、フランスを代表するオーケストラ、パリ管弦楽団・プラス・クインテットのメンバーたちにとっては、フレンチ・シャンソンとルネサンス、クラシックの音楽の間に垣根がありません。フランスの音楽家はフランスの受け継がれる伝統の演奏スタイルをエコール・フランセーズ（Ecole française）と呼びそれを誇りにしています。今回の演奏会では、パリ管弦楽団の名手がフランス伝統の響き、そしてフランス音楽の醍醐味を十分に堪能させてくれることでしょう。

10/8(日)～11/26(日) 静岡 室内楽フェスティバル2017 に注目♪

静岡市内の各所で、様々なコンサートが開催される「静岡 室内楽フェスティバル」。

10/8から11/26まで、ホールや屋外で20ステージが行われます。グランシップで開催される「パリ管弦楽団・プラス・クインテット」もそのひとつ。中には無料で楽しめるものもありますので、気軽にお出かけしてはいかがでしょうか。

「アマチュア・アンサンブルの日」

11/3(金・祝) 12:00～ 会場／静岡音楽館AOI

「まちは劇場プロジェクト まちかどコンサート」

10/8 (日) 12:20～ 会場／JR清水駅東口清水港マグロまつり2017会場
10/15(日) 12:20～ 会場／しみず駅前銀座商店街
10/19(木) 13:20～ 会場／新静岡セノバ南口
11/11(土) 13:20～ 会場／静岡市上下水道局庁舎玄関前広場
11/24(金) 16:00～ 会場／JR静岡駅北口地下広場イベントスペース
11/26(日) 12:20～ 会場／清水駅前銀座商店街

お得なクラシックセット券はお早めに！

- ① 10/23 パリ管弦楽団・プラス・クインテット
- ② 11/4 ウラディーミル・フェドセーエフ指揮
チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ
- ③ 2018/3/3 N響メンバーによる室内オーケストラシリーズ
～バロック編～ 野平一郎新作付き

世界で活躍する一流アーティストの演奏を、
オトクに楽しめる「クラシックセット券」。

①～③の3公演セットで20,500円のところ、
16,000円で販売(数量限定)

パリ管弦楽団・プラス・クインテット

10/23(月) 19:00～ ■ 中ホール・大地
■ S席4,100円 A席3,100円 こども・学生1,000円

《曲目》
ジェルヴェーズ：ルネサンスのフランス舞曲集、エヴァルト：金管五重奏曲第1番、
ビゼー：カルメン組曲、
フレンチ・シャンソン・メドレー：枯葉、群衆、ラ・ボエーム、黒い鷲 他



02 

パリ管弦楽団のサウンドで フランス音楽のエスプリに酔いしれる。

「ウィнна・ワルツのリズムはウィーンのオーケストラでしか表現できない。」とよく聞か、フランス音楽にも独特のニュアンスがある、よく耳にする「エスプリ」という言葉がそれを表しているのかも知れない。



木幡光邦(トランペット)
静岡県焼津市出身。
原信夫とシャープス&
フラッツ、EM BAND、
守屋純子オーケストラ、
山下洋輔JAZZオーケストラ等に参加。



エリック宮城(トランペット)
ハワイ出身。国内最高のメンパーEM Bandを自ら結成。日本を代表する数多くの録音に参加。学生からも憧れられるトランペッター。



小曽根真(ピアノ)

パークリー音楽大学を首席で卒業し、全世界デビュー。以降、ゲイリー・パートン、チック・コリアとの共演や、ビッグバンドNo Name Horsesを結成しツアーを行うなど、最先端のジャズシーンで活躍。また、NYフィル、サンフランシスコ響から招かれるなど、ジャンルを超えて躍進を続けている。



マーシャル・ギルクス(トロンボーン)
マリア・シュナイダー・オーケストラや、クリスチャン・マクブライド・ビッグバンドのメンバーとして活動。ジュリアード音楽院卒業。現在はパークリー音楽院准教授。



中川英二郎(トロンボーン)
東京芸術大学附属高校在学中、初リーダー作「中川英二郎&FUNK'55」をニューヨークで録音。以来、ライブ活動や、映画やTVドラマなど幅広いジャンルで活躍。国立音楽大学ジャズ専修の講師。



岡崎好朗(トランペット)
12歳でトランペットを、17歳でジャズを始める。パークリー音楽大学卒業後、中村誠一・クインテット、多田誠司、小林陽一&グットフェローズ等のライブやレコーディング等で活躍。



奥村晶(トランペット)

東京芸術大学在学中に「宮間利之とニューハード」に入団。以後、渡辺貞夫、猪俣猛、カルロス管野、小曽根真などと共演。現在、国立音楽大学ジャズ専修講師。



三木俊雄(テナーサクソ)
関西大、パークリー音楽大学卒。フロントページ・オーケストラを主宰し2ndアルバム『Stop&Go』をリリース。佐山雅弘クロニクルバンドのコンサートマスター。尚美学園大学非常勤講師。



池田篤(アルトサクソ、フルート)
国立音楽大学器楽科卒業。在学中より山下洋輔のグループに参加。1990年に渡米。1995年帰国後CD『Everybody's Music』を発表後6枚のリーダーアルバムを発表している。国立音楽大学ジャズ専修准教授。



近藤和彦(アルトサクソ、ソプラノサクソ、フルート、ピッコロ)
在学中より、米米クラブ、宮間利之&ニューハード、渡辺貞夫などのバンドに参加。現在、自己のグループの他、多数のレギュラーグループで活動。昭和音楽大学非常勤講師。



山城純子(バス・トロンボーン)

東京音楽大学卒業。渡辺貞夫ビッグバンドへの参加をきっかけにジャズを始める。EM BAND、守屋純子オーケストラ、923BigBand、山下洋輔JAZZオーケストラで活動中。愛犬(柴犬のゴンくん)の世話が趣味。



岩持芳宏(バリトンサクソ、バスクラリネット)
父の影響で幼少より種々の音楽器に慣れ親しむ。2000年、C.U.G.ジャズオーケストラのリーダーである小濱安浩氏の熱い薦めにより、同オーケストラに入団。数々のセッションで活躍している。



岡崎正典(テナーサクソ、クラリネット)
法政大学ニューオレンジスウィングオーケストラでJAZZと出会う。卒業後、パークリー音楽大学に留学。大坂昌彦、CUGジャズオーケストラ、内堀勝ビッグバンドなどに参加。



高橋信之介(ドラムス)
山下洋輔、宮之上貴昭のレギュラードラマーとして迎えられ、辛島文雄、伊藤君子等のバンドでも演奏。2016年より活動拠点を日本に移す。



中村健吾(ベース)

パークリー音楽大学卒業。リンカーンセンター・ジャズ・オーケストラに参加。マルサリス・カルデットのメンバーとして、クリントン元大統領主催のプレジデント・サミットで演奏。



GRANSHIP
FEATURE
STAGE

グランシップ プレミアム・クリスマス・ジャズ・ライブ 小曽根真 featuring No Name Horses

12/15(金) 19:00～ ■ 中ホール・大ホール ■ S席6,200円 A席5,100円 こども・学生1,000円

友の会先行販売 9/17(日)～23(土・祝) 一般発売 9/24(日)～

小曽根真とNo Name Horsesのメンバーによるジャズ講座

12/15(金)のコンサートを前に、ジャズの魅力をお伝えする講座を開催。日頃吹奏楽に取り組む県内の高校生が、No Name Horsesのメンバーから直接指導を受ける様子を公開します。

講師：小曽根真(ピアノ)、中村健吾(ベース)、高橋信之介(ドラムス)

9/22(金) 18:30～ ■ 地下リハーサル室 参加料：一般1,000円 こども・学生500円

※事前申込制(電話またはグランシップホームページ内申込フォームから)

グランシップ プレミアム・クリスマス・ジャズ・ライブ 小曽根真 featuring No Name Horses

パークリー音楽大学を首席で卒業し、日本のジャズ界を牽引するジャズピアニスト小曽根真が率いるビッグバンドNo Name Horses(フー・ネーム・ホーセス)。総勢15名のメンバーはいずれもトップレベルのアーティストで、ハイレベルなサウンドは日本だけでなく世界各地で称賛を浴びています。No Name Horsesは、2004年に小曽根真がプロデュースしたシンガー伊藤君子のアルバム制作のために結成。当初はレコーディングのための臨時編成の予定でしたが、小曽根真はその生み出されるサウンドのレベルの高さに、継続した活動を決意。オリジナル曲をレコーディングし、コンサートを行っているのは世界的にも稀有なビッグバンドとなりました。全国ツアーの他、アメリカ、フランス、スコットランド、ウイーン、シンガポールなどの世界各地で演奏を重ねています。各地のジャズフェスティバルや音楽祭の参加、オリジナルアルバムリリース、ジャズのみならずクラシックの世界でも活動の幅を広げる小曽根真のもと、ジャンルを超えた活動は、各方面から注目を集めています。今回グランシップでは、恒例の「グランシップ プレミアム・クリスマス・ジャズ・ライブ」として、コンサートを開催。ビッグバンドの迫力ある演奏、一流アーティストたちの共演は是非生のステージで。ジャズが似合うクリスマスシーズンに大切な人と豊かな時間を楽しんでいかが。



谷川俊太郎さんに、しずおか連詩の会をはじめた大岡信さんとの思い出と、連詩の醍醐味を訊ねた。

僕個人にとっては大岡を追悼する会。
でも、連詩は「宴」だから、楽しくなきゃ。

谷川俊太郎

丸谷才一さんたちと開いていました。それで僕が「詩でも同じようにやろうよ」と誘ったら乗ってくれた。三鷹市内の蕎麦屋の2階に集まって初めて連詩を試しました。参加者は大岡や僕が入っていた「糧」の同人たち。ただ、最初は完全に試行錯誤でしたね。数行だけの人もいれば30行書く人もいた。別室の「おこもり部屋」に数時間引きこもって書く人もいた。連詩にはスピードが必要で、考えこまれると流れが滞ってしまうんです。手持ち無沙汰になってお酒を飲んで寝てしまう人もいました。でも徐々に形ができあがって、5行と3行の反復に収まっていったんです。

―大岡さんの長女で、今回の連詩の会にも参加する大岡亜紀さんは、子どもころ、襖の隙間から連詩の創作現場を見ていたそうです。

知らなかった(笑)。まだ小さかったでしょう。

―亜紀さんも父の大岡さんを、しずおか連詩で明るく送りたいとおっしゃっています。

本当にその通りですね。連詩の教科書ともいえる『うたげと孤心』で大岡自身が述べているように、日本の詩歌の伝統には「宴」があります。でも、現代詩は詩を自己表現だとずっと捉

えてきた。他人と一緒に詩を書く発想がなかったわけですね。だから、複数人で一緒に詩を詠む連詩に対する反発も大きくて「私はそんなことはやらない」という詩人もいました。でも、「みんなで創作する楽しさを日本人は昔から得てきた」と大岡は主張してきました。

―連詩における詩作は、普段の詩作とどう違いますか？

実際、連詩の創作に参加すると、周りに触発されて思いがけない詩が生まれたり、次の人につなげる詩を書かなきゃいけないという責任感を感じたり、ひとりで書くのとはまた別の経験ができるんです。最近はいブハウスで、今度のしずおか連詩にも参加する覚和歌子さんと一緒に「対詩」をしています。2人で交互に詩をつなげていく連詩の発展系です。詩を打ち込むコンピュータの画面が会場のスクリーンに映し出されるんだけど、言葉を修正する過程まで来場者に見えてしまふ。僕らはそれを面白がってやっています。詩って意識下から、あいまいな形で言葉が出てくるときに、思いがけない数行ができることがある。連詩や対詩だと、そういう状況が生まれやすいのかもしれない。

―完成した連詩を読むと、ゆったりした特別な時間が創作現場に流れて

いるように感じます。

本人たちは早く作らなきゃって焦ってるんだから、現場はそんなことはないよ。まあそれを見せないほうがいいんだけど。ただ、さっきも言ったように、連詩には流れがあります。だから、誰か「さばく人」がいないと困る。大岡の後を継いでさばき手を務めている野村喜和夫さんには、信頼して任せたいです。大岡は、いかめしい感じのする「宗匠」という呼ばれ方を嫌がっていたけど、野村さんも「宗匠」とは言われたくないんじゃないかな。でも、連詩全体を見渡す人は必要だから、いろいろ助言してほしいです。

―もうお一人の参加者、四元康祐さんはドイツ在住です。

四元さんは、国際的な視野があって、ヨーロッパでも連詩をひろめています。大岡もよく海外の詩人とやってました。僕も何度かくっついていて海外の連詩に参加しました。外国人と連詩をすると、真っ向から前の詩の内容に反対する「向こう付」になったり、前の詩の内容を受け入れすぎてしまふ「べた付け」になることがあります。でも日本だと和の精神で、不思議とそうならないんだよね。しずおか連詩では、四元さん個人の知的な詩作の姿勢やヨーロッパでの連詩経験が、和の精神とどう融合す

るか、楽しみです。

―最終日の発表会には、ファンや地元高校生がたくさん訪れる予定です。

発表会では、作った連詩を参加者が壇上で音読するでしょ。なぜこの詩を前の詩に付けたか、そして、次の人にどんな言葉を送ったか、本人が説明する。作者の「実は」という種明かしを聞くと、やっぱり面白いよね。今はみんな、忙しくてあまり時間がないんだらうけど、どうしてこういう詩ができたんだらうって、じっくり深読みするのが良いと思います。そして、作品の意味についてたくさん質問してほしい。いずれにせよ、連詩は「宴」なんだから、楽しく始まって楽しく終わらなきゃ。

・・・

取材日は7月3日。東京都内は、前日の都議選の熱気も冷めやらぬ、外気も30度を超すむし暑さだった。しかしお話をうかがった都内の谷川邸には、静かな時間が流れていた。しずおか連詩の会では、どんな言葉がファンにそして大岡さんに贈られるのだろうか。

今年の「しずおか連詩の会」は、三島市の「大岡信ことは館」で11月9、11日に開かれる。12年ぶり4回目の参加となる谷川さんは、今年4月に亡くなった大岡さんと、約半世紀にわたって詩人同士の交流を結んできた。

・・・

―谷川さんにとって、やはり今回は、長年の盟友であった大岡さんを追悼する場となりますか？

大岡については話さないと決めています。あまりに付き合いが深かったから。でも、どうしたって彼の記憶や思い出が、今度のしずおか連詩で書く詩には表れてくるんじゃないかな。大岡が生まれ故郷に対して深い思い入れがあったことや、連詩の可能性を人一倍考えていたことを知っているから。

―お話いただける範囲で構わないので、大岡さんとの出会いや連詩誕生のいきさつを教えてくださいませんか？

60年ほど前、最初に書いたエッセイ「世界へ！」を読んでもらおうと思って見せにいったの。面識は以前からあったけど、きちんと付き合うようになったのはそこからでした。連詩そのものの始まりは1970年代前半。大岡が古典的な連句の会を作家の

グランシップ出前公演
2017年しずおか連詩の会 in 三島
11/12(日) 10:00～
大岡信ことは館(三島市文教町1-9-11)
参加費:500円
参加詩人:野村喜和夫、谷川俊太郎、
四元康祐、覚和歌子、大岡亜紀



Shuntaro Tanikawa

谷川俊太郎

1931年東京都杉並区生まれ。50年、19歳で「文学界」に『ネロ他五編』が掲載され、詩壇にさっそうと登場する。52年に、初詩集『二十億光年の孤独』を出版。以来、120冊以上の詩集、詩選集を発表、70年近くにわたって現代詩の第一線に立ち続けてきた。「鉄腕アトム」などの作詞や『マザーグース』『ピーナッツ』など絵本の翻訳も、数多く手がけている。

vol.11 ホンモノとニセモノとは？

前回は、なに^にことも不器用に生まれていったほうが、小手先の利く器用者よりも、技芸者としてはモノになるーと云う、昔からの俚諺には真実があることを申し上げました。

しかし、この「モノ」にもホンモノとニセモノの別があることは、皆さま、ご存知のとおりです。

私が劇場に勤めていた頃、「あの人の芸は本物です」あるいは「アイツはニセモノだ」など云う、誉め諺りの言葉は屢々聞かれましたし、また、生意気だった私も口にしたものです。

それが耳に障ったのでしよう、ある時、勘三郎さんに、「君の言う、ホンモノとニセモノの違いは何だい？」と、眼を据えて睨まれました。

咄嗟のことで答えられず、まさか、あなたは本物ですと正直に申したところで世辞と受け取られ、却って怒りを買ったことは分かっていましたから、黙って引っ込むほかはなかったことを思い出します。

梨園の名門に生れ、伝承芸の英才教育を受けて育った勘三郎さんは、人を別け隔てすることを自ら戒め、また、梨園の垣根を越えて小劇場演劇の人たちとの交流を実践していまし

たから、真贋を目利きするような物言いを許せなかったのでしょう。

しかし、私とて、なにも血筋や家柄を基準にしていたわけではありません。それどころか、若い頃から名人上手の芸に接するなかで、一つだけ分かったのは「芸は遺伝しない」、ということだったのですからー

じっさい、その当時、名人と極めの付いた中村歌右衛門、水谷八重子、藤間勘十郎、西川鯉三郎、井上八千代など皆故人となりましたが、ごなたも養子あるいは素人の家から芸の道に入った方々でした。

このほか、現在も活躍なさっている玉三郎さんまで含めると、優秀な人材の輩出が血統に因らぬことは、幾らでも実例を引いて証明が出来ます。

しかし、ひと頃、DNAという学術用語が世間ばなしにも用いられ、「若貴兄弟が強いのは、やっぱりディーエヌエーだね」などという俗評が聞かれたものです。

競馬馬や愛玩犬でもあるまいし、人の才能を裏書きする血統書などあるわけがありません。遺伝するのは疾病や手足の形など、何れ口くなことではないでしょう。

このように芸は遺伝しないのですから、逆に言えば、名人の実子に名人が出る場合もあるわけです。勘三郎さんなどはその良き例でした。しかし、血の繋がつた先代とは異なる芸質であったところが芸の妙で、同じ髪結職の新三^{しんざ}あるいは鏡獅子の弥生を演じて、単なる隙写^{すきうつ}ではなかったのです。

その勘三郎さんが世を去られたあと、六代目尾上菊五郎の芸談を拾い読みしていると、「この若い者たちには、私が教えるだけのことは仕込みましたから、未だ拙くはありますが、決してニセモノではありませぬ」という條に接しました。

いわゆる俄か仕立ての、間に合わせの、一時^{ひととき}凌ぎではない本物の芸。つまり師伝を守り、修業を積めば、生れには関係なく、ホンモノになることが出来るのです。

近い将来、向こうで勘三郎さんに会ったならば、あなたのお祖父さんが斯う仰有っていたのですから、やはり、ホンモノとニセモノはありますよ、と申したいと思います。

フン、今ごろ気が付いたかと、外方を向かれそうですが、

伝統芸は知るものではなく、

身につけるもの。

岩下尚史



TV・ラジオでコメンテーターとしても活躍。
作家・岩下尚史氏のコラムが好評連載中。

岩下尚史（いわしたひさふみ）…作家。國學院大學客員教授。新橋演舞場（株）退社後、芸者の発生と変遷について著した『芸者論』にて、新人としては異例の第二十回和辻哲郎文化賞受賞し、本格的な作家活動を開始。その他、三島由紀夫の恋人への取材を基に書き下ろした『見出された恋』、『ヒタメン』などの著作がある。また、日本の伝承芸能や古典的な暮らしについてのエッセイ等も多数著している。現在、季刊「美しいキモノ」（ハースト婦人画報社）にて、エッセイ「東都風流（あづまのてぐり）」を連載中。新刊『大人のお作法』（集英社インターナショナル刊）が好評発売中。



写真：青木信二

グランシップ伝統芸能シリーズ
人形浄瑠璃 文楽

一途な恋、道ならぬ恋。
愛憎渦巻く心中もの二作を上演

語り物音楽のうち三味線を使うものを浄瑠璃と言い、娯楽性に加えて芸術性を備えるようになってからは、各地で人形浄瑠璃の劇場が賑わいました。大阪・道頓堀では、人気作家・近松門左衛門とともに「豊竹座」や「竹本座」が全盛期を迎えます。その後、淡路島出身の植村文楽軒率いる「文楽座」が中心的存在となり、やがて人形浄瑠璃は「文楽」と呼ばれるようになりまし。太夫・三味線・人形遣いが三位一体で創り上げる舞台は、世界のほかの人形劇とは全く異なる総合芸術。ユネスコ無形文化遺産であり、日本が世界に誇る人形劇です。県内では、グランシップでの公演と「グランシップ出前公演」だけが鑑賞のチャンス。物語の内容や登場人物の心情、台詞を語り分ける太夫、物語の雰囲気や心理描写を音で表す三味線、三人で一体の人形を遣い、人間以上のしなやかな仕草や豊かな表情を魅せる人形遣いが創り出す迫真の舞台を肌で感じてみてください。



今回は、江戸時代に起きた実際の心中事件を題材に、不動の人気となった「心中もの」二作を上演します。38歳の長右衛門と14歳のお半をめぐる情愛や苦悩に胸打たれる「桂川連理柵」、遊女お初と醬油屋の手代徳兵衛が命をかけて恋を全うする、近松門左衛門の名作「曾根崎心中」。人形が演じることで、不思議なほど艶やかで美しく感じられます。たっぷりとお楽しみたい方には、お得な昼夜通し券がおすすめです。公演当日は、文楽入門講座、お着物で来場された方へのプレゼント（先着制）など、イベントも盛りだくさん。ぜひお楽しみください。

グランシップ伝統芸能シリーズ 人形浄瑠璃 文楽

【演目】 昼の部：「桂川連理柵」～六角堂の段～帯屋の段～道行籠の桂川～
夜の部：「曾根崎心中」～生玉社前の段～天満屋の段～天神森の段～

10/7（土） 昼の部13:30～／夜の部18:00～

■中ホール・大地 1階席3,600円 昼夜通し券6,480円 こども・学生1,000円 2階席1,000円

【チケット購入者限定 特別イベント】 わかる!文楽入門講座

公演に出演する技芸員が、太夫・三味線の解説や道具の説明、実演などを行います。

10/7（土）17:00～17:30 ■6階交流ホール 入場無料・予約不要（直接会場へ）

お着物プレゼント＆
文楽限定グッズ販売

公演当日お着物で来場された方にプレゼントを進呈（先着制）。和服で伝統芸能を楽しむ粋な1日を過ごしてみては。また、会場内では人気の「文楽せんべい」をはじめ、文楽オリジナルグッズを販売。お土産におすすめです！



林家二楽

田辺一邑

入船亭扇辰

グランシップ寄席 ～噺に生きるおんなの功～ 落語、講談、紙切り芸 第一線で活躍する芸人揃いで見応えたつぷり！

日本ではじめて女性に選挙権が与えられたのは、戦後になってからのこと。その後、男女雇用機会均等法や男女共同参画社会基本法が施行され、女性が活躍できる社会になったのはここ数十年のように捉えられています。が、いつの時代も女性の活躍が欠かれないことはご承知のとおりでしょう。それは、落語や講談のネタにも垣間見ることが出来ます。人情味あふれる長屋のおかみさん、旦那を支える世話女房、粋で情の深い華やかな花魁たち…。様々なシーンで女性が生き生きと活躍したことから、豊かで平和な江戸時代が築かれたのかもしれない。

毎回多彩なテーマで人気を集めている「グランシップ寄席」。今回は落語や講談のネタに登場する粋な女性たちにスポットをあててお届けします。魅力的な女性たちを匠な話芸で紹介するのは、柔らかなで落ち着いた雰囲気を持ち、格調高い落語に定評のある

入船亭扇辰と、故郷・浜松を中心に各地の偉人を講談に仕立てるシリーズが好評で、井伊直虎をネタにした「直虎講談」で注目を集めている田辺一邑。さらに、立体紙切りなどの繊細なテクニックで子どもから大人まで魅了する紙切り師・林家二楽が加わり、バラエティ豊かな寄席芸をお楽しみいただきます。高座と客席の一体感が好評の交流ホールで、大衆芸能を堪能してみませんか。



「グランシップ寄席 ～噺に生きるおんなの功～」

10/28(土) 14:00～ ■6階交流ホール 一般3,500円 こども・学生1,000円

「寄席文字」に込められた思いとは？

寄席に欠かせない舞台道具といえば、芸人名を紹介する「めくり」。高座の脇に置かれ、芸人が変わるたびにめくったり、戻したりする紙製の札です。この「めくり」に書かれた筆太の文字「寄席文字」は、客席に隙間がないほどお客様に詰めかけてほしいという願いから生まれたそうで、紙の余白を空席に見立て、それが少なくなるように墨をたっぷり使った太字で書かれています。また、よく見ると文字の右側が少し上がっています。これは、右肩上がりによって客数が伸び、ますます繁盛するようという願いが込められているとか。道具に込めた思いも、脈々と受け継がれているんですね。



静岡ガスPRESENTS グランシップ&静響 ニューイヤークンサート vol.16 珠玉の名曲を、一流の歌声と熱響で堪能

クラシック音楽で新年を寿ぐ、ニューイヤークンサート。日本オーケストラ連盟県内唯一の加盟オーケストラ・静岡交響楽団とスペシャルゲストを招いての多彩なステージが人気を集めています。年々人気が高まり、現在は1日2公演にて実施。日頃クラシックコンサートに足を運ぶ機会の少ない方からも、「これは特別」と好評をいただいています。

注目のスペシャルゲストは、毎年楽しみにしている方も多くいる、ソプラノ歌手の中丸三千繪さん。世界の歌姫が情感あふれる歌声で魅了します。指揮を執るのは、長年ヨーロッパの主要オーケストラで活躍し、2015年から静岡常任指揮者に就任した篠崎靖男氏。今回のプログラムやコンサートへの思いなどを聞きました。

フスキの『ロミオとジュリエット』。チャイコフスキーの中でも指折りの響きの美しい曲です。静響ならではのフレッシュなアプローチにもご注目ください。後半の中丸さんのステージは、代名詞といえるイタリアオペラのアリアを中心に、ダイナミックかつ繊細、感動と驚きに満ちたステージになりそうです。締めくくりは、「お約束」の行進曲。ここでしか味わえない感動が味わえますよ。地域や住む人への思いを音色にできるのが地元の交響楽団です。静響の「熱響」に期待ください！

素晴らしい音楽を多くの方々に楽しんでいたことが、地元企業と静岡交響楽団、グランシップが協働して開催している新年の贈り物。本格的なクラシックコンサートを手頃な料金で楽しめるまたとない機会です。初めましての方も、常連さんも、「来て良かった」と思わせてくれる。そんな感動をぜひグランシップで！

静岡ガスPRESENTS グランシップ&静響 ニューイヤークンサート vol.16
2018年 1/12(金) 昼の部14:00～、夜の部19:00～ ■中ホール・大地
全席指定:2,000円

※往復はがきまたはWEB専用ページからの事前申込制。応募者多数の場合は抽選。抽選の結果は12月中旬にお知らせします。
応募期間:10/1(日)～11/30(木) ※当日支払、座席は選べません。

〈出演〉指揮:篠崎靖男(静岡交響楽団 常任指揮者) スペシャルゲスト:中丸三千繪
管弦楽:静岡交響楽団

【演奏曲目】

- ♪ヨハン・シュトラウス2世／「皇帝円舞曲」、「トリッチ・トラッチ・ポルカ」、「美しき青きドナウ」
- ♪チャイコフスキー／幻想的序曲「ロミオとジュリエット」
- ♪イタリアオペラ アリア集(中丸三千繪)

指揮:篠崎靖男
(静岡交響楽団 常任指揮者)スペシャルゲスト:
中丸三千繪(ソプラノ)

2017年10月～12月
グランシップイベントカレンダー

10/23[月]

グランシップ企画事業

音楽

本誌P4～7の詳細をチェック!

パリ管弦楽団ブラス・クインテット

■中ホール・大地 ■19:00～
■S席4,100円 A席3,100円
こども・学生1,000円

フランス・パリ管弦楽団の首席ソロ奏者たちによる、極上の響き。クラシックからシャンソンまで、フランスプログラムをたっぷり。

グランシップチケットセンター tel.054-289-9000



10/25[水]

イベント

平成29年度
静岡県健康福祉大会■大ホール・海 ■13:00～16:00
(社福)静岡県社会福祉協議会
tel.054-254-5224

10/24[火]

舞台

柳家小三治一門会

■中ホール・大地 ■18:30～20:30
■4,000円
出演:柳家小三治、柳家はん治、柳家三三 他
アクセス tel.045-212-5555

10/28[土]

グランシップ企画事業

本誌P14の詳細をチェック!

舞台

グランシップ寄席
～漸に生きるおんなの功～■6階交流ホール ■14:00～
■一般3,500円 こども・学生1,000円様々なテーマ設定で人気の「グランシップ寄席」。落語や講談のネタでは欠かせない愛嬌あふれる女性たちにご注目。高座と客席が一体となって楽しめる多彩な寄席芸をお楽しみに。
出演:入船亭扇辰(落語)、田辺一邑(講談)、林家二楽(紙切り)

グランシップチケットセンター tel.054-289-9000



林家二楽 田辺一邑 入船亭扇辰

10/28[土]

イベント

第7回赤十字救急法競技会

■大ホール・海 ■10:00～14:50
日本赤十字社静岡県支部 tel.054-252-8131

10/29[日]

音楽

シンフォニエッタ 静岡
第51回定期公演■中ホール・大地 ■14:00～16:00
■7,000円～1,000円
シンフォニエッタ 静岡 tel.054-204-7778

11/4[土]・5[日]

進学

防衛大学校
生徒採用1次試験■901、905、1002会議室 ■10:00～15:40
自衛隊静岡地方協力本部 tel.054-261-3151グランシップ企画事業では、ボランティアスタッフによる
託児サービスをご利用いただけますご利用希望の方は、公演1週間前までに
(公財)静岡県文化財団事業課まで
ご連絡下さい。
TEL.054-203-5714※お預かりできるのは、2歳以上の未就学児のお子様に限ります。
※イベントによっては、託児サービスが利用できない場合もございます。

10/20[金]

講演会

静岡県生涯学習推進フォーラム

■11階会議ホール・風 ■13:00～16:30
静岡県総合教育センター
生涯学習企画課生涯学習推進班
tel.0537-24-9715

10/21[土]・22[日]

イベント

グランシップ企画事業

グランシップ懐かしの映画会

■中ホール・大地
■1日券1,000円 2日通し券・ペア券1,500円
こども・学生500円

今では貴重な35ミリフィルムでの優れた作品の映画上映会。才気あふれる作風で日本映画の刷新を試み続けた映画監督市川崑が小説を映画化した4作品を上映。

10/21(土) 10:30～「野火」
13:00～「おはん」
10/22(日) 10:30～「ぼんち」
13:00～「東京オリンピック」

グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

10/21[土]

講演会

第8回
静岡市民「からだ」の学校■11階会議ホール・風 ■14:00～16:15
静岡市立静岡病院 tel.054-253-3125

10/22[日]

イベント

学校法人駿河学院
駿河祭スポーツフェスタ■大ホール・海 ■10:00～16:00
学校法人駿河学院 tel.054-247-9933

グランシップショーウインドウ

太古の昔から哺乳類は、緑色光に高い感受性があり、その特性は警告としての認識でもあるそうだ。私が用いたウランガラスは、まさにその光を発する素材である。ウランを含有したガラスは紫外線などのエネルギーを与えられると、とても綺麗な蛍光を放つ。しかし、たった1%未満のウランで光り輝くガラスからは、物質としてのウランが地球上でどれだけの力を持っているかが、目に見えて理解できる。

グランシップアートコンペ2017
グランシップ賞受賞作品「都市」
作者:松藤孝一 (http://www.koichimatsufuji.com/)
展示期間:2018年3月末まで(予定)

(撮影:撮影サポーター 平尾正志)

10/14[土]

講演会

静岡市
認知症疾患医療センター
市民公開講座■11階会議ホール・風 ■13:30～15:40
溝口病院 tel.054-261-3476

10/15[日]

グランシップ企画事業

イベント

ふじのくに文化情報フォーラム2017秋

■6階交流ホール ■13:00～

県内の文化団体、アーティスト、文化施設等をはじめ、世代や職業の異なる文化に関わる人が一堂に会し、来場者が対話を通じて気付きや新たなネットワークを生み出す交流プログラム。

グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

10/15[日]

舞台

第29回大舞踏会

■大ホール・海 ■10:00～16:30 ※事前申込制
静岡県ダンススポーツ連盟 tel.080-6909-3128

10/15[日]

講演会

平成29年度
第1回 感染対策支援セミナー■11階会議ホール・風 ■13:00～17:00
■1,000円
(公社)静岡県病院協会 tel.054-252-6326

10/15[日]

その他

市民講座
「発達障害を考える集い」■10階1001-1会議室 ■13:30～16:00
静岡市発達障害者支援センター「きらり」
tel.054-285-1124

10/16[月]

イベント

ふじのくに交通安全県民大会

■中ホール・大地 ■13:00～16:00
静岡県交通安全対策協議会 tel.054-221-2994

えほんのひろば



グランシップ県立図書館コーナー「えほんのひろば」では、約5,000冊の絵本をカーベットに座ってゆっくりご覧いただけます。ここにある絵本の貸出・返却・予約のほか、県立中央図書館の本・雑誌や、DVD・朗読CDなどの予約・貸出・返却もできます。また、毎週木曜日の10:30～と15:00～、第3日曜の10:30～は「おはなし会」を、毎週火曜日の10:30～は「0歳からのおはなし会」を行っています。是非ご参加ください。

10月上旬の展示予定	おじいちゃん おばあちゃんの絵本
10月中旬から11月中旬の展示予定	音と音楽の絵本
11月下旬から12月下旬の展示予定	クリスマスの絵本
12月下旬から1月中旬の展示予定	犬と十二支の絵本

10/1[日]

音楽

日本製紙
New Wave Concert 2017■中ホール・大地 ■13:30～16:00
静岡新聞社・静岡放送営業局
tel.054-281-9010

10/4[水]

進学

特進協進路合同説明会

■6階交流ホール ■13:30～16:00
静岡市特別支援教育進路指導協議会
tel.054-255-3600

10/5[木]・6[金]

その他

第37回農薬製剤・施用法、
第35回農薬環境科学
合同シンポジウム■11階会議ホール・風 他
■5日13:00～17:30 6日9:00～16:15
■一般19,000円 学生8,000円
第37回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局
tel.0548-29-0611
第35回農薬環境科学シンポジウム事務局
tel.0721-56-9000

10/7[土]

グランシップ企画事業

舞台

本誌P12の詳細をチェック!

グランシップ伝統芸能シリーズ
人形浄瑠璃 文楽■中ホール・大地
■昼の部13:30～／夜の部18:00～
■1階席3,600円 昼夜通し券6,480円
こども・学生1,000円 2階席1,000円ユネスコ無形文化遺産の文楽を世話物二作で開催。字幕表記や出演者によるあらすじ解説もあるので、初めての方でもお気軽に。
昼の部:「桂川連理柵」～六角堂の段～
帯屋の段～道行籠の桂川
夜の部:「曾根崎心中」～生玉社前の段～
天満屋の段～天神森の段

写真:青木信二

グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

12/16^[±]

音楽

東儀秀樹×古澤 巖×coba
全国ツアー2017
TFC55 LEVERL IV

■中ホール・大地 ■17:00～
■7,000円
(株)静岡リビング新聞社 tel.054-255-1231

12/17^[日]

進学

ふじのくに
海外留学応援フェア

■10階 ■13:00～16:30
静岡県文化・観光部総合教育局大学課
tel.054-221-3749

12/24^[日]

舞台

Ballet & Dance Performance
2017 in Shizuoka

■中ホール・大地 ■13:00～ ■2,000円
(公財)日本航空教育協会ウイングシアター
tel.054-345-0188

12/24^[日]

舞台

ダンスアワード2017
演技発表会

■6階交流ホール ■14:00～(予定) ■5,000円
プロムナードダンス教室 tel.054-265-8161

12/26^[火]

就職

静岡県主催
働く大交流会「縁」

■6階交流ホール ■13:30～16:30
(株)SBSコミュニケーションズ tel.054-289-7555

12/26^[火]

音楽

吹奏楽
ウインターコンサート2017

(静岡東、静岡、静岡農業、
常葉橋、静岡学園)
■中ホール・大地 ■17:30～20:00 ■300円
(代表校)静岡県立静岡東高等学校吹奏楽部
tel.054-261-6636

12/27^[水]

音楽

常葉大学WSE
第36回定期演奏会

■中ホール・大地 ■18:00～20:00
■前売券300円 当日券400円
常葉大学ウインド・サウンズ・アンサンブル
tel.054-261-3233(常葉大学 山崎研究室)

12/8^[金]・9^[±]

その他

第25回日本産業ストレス学会

■中ホール・大地 他 ■9:00～18:20
■学会員6,000円 非会員8,000円
学生3,000円 ※10/20までの事前登録の場合
日本産業ストレス学会運営事務局
tel.03-5520-8821(㈱プロコムインターナショナル)

12/8^[金]

講演会

平成29年度保育所等における
アレルギー疾患講習会

■11階会議ホール・風 ■13:15～17:00
(独)環境再生保全機構 tel.044-520-9572

12/10^[日]

音楽

静岡豊田幼稚園 音楽発表会

■中ホール・大地 ■13:00～15:00
静岡豊田幼稚園 tel.054-283-2258

12/14^[木]～18^[月]

展示

第26回愛護ギャラリー展

■6階展示ギャラリー
■9:00～17:00(14日15:00～／18日～12:00)
静岡県知的障害者福祉協会
tel.054-254-6341

12/15^[金]

グランシップ企画事業

音楽

本誌P8-9の詳細をチェック！

小曽根真

featuring No Name Horses

■中ホール・大地 ■19:00～
■S席6,200円 A席5,100円 子ども・学生1,000円
ジャズ界のみならず、音楽界で不動の人気を誇る
小曽根真率いるビッグバンドの、ハイレベルかつ
パワフルなサウンドで贅沢なクリスマスを！



グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

12/15^[金]

就職

第3回大学生就職フェア

■大ホール・海 ■12:00～16:00
静岡県経済産業部雇用推進課
tel.054-221-2573

12/16^[±]

就職

2019年3月卒業予定者
就職支援セミナー

■11階会議ホール・風 ■13:00～16:00
静岡県学生就職連絡協議会 tel.054-623-8476

11/25^[±]

その他

静岡県農林技術研究所
公開セミナー

■6階交流ホール ■13:00～15:30
静岡県農林技術研究所 tel.0538-36-1553

11/26^[日]

音楽

第57回静岡県芸術祭
音楽・舞台芸術部門合唱コンクール

■中ホール・大地 ■10:30～16:30
静岡県合唱連盟 tel.054-261-9637

11/26^[日]

就職

マイナビ
インターンシップフェア静岡会場

■大ホール・海 ■13:00～17:00
(株)マイナビ静岡支社 tel.054-275-3200

11/29^[水]・30^[木]

イベント

第14回
お米日本一コンテストinしずおか

■6階
■29日11:15～16:30 30日10:15～15:20(予定)
お米日本一コンテストinしずおか実行委員会
tel.054-221-3249

11/29^[水]

その他

第15回静岡市社会福祉大会

■中ホール・大地 ■13:00～16:00
(社福)静岡市社会福祉協議会 tel.054-254-5213

11/29^[水]

その他

静岡県建設産業の主張2017

■11階会議ホール・風 ■13:00～16:00
(一社)静岡県建設産業団体連合会
tel.054-252-8479

12/1^[金]

講演会

あすなる夢講座21

■中ホール・大地 ■18:00～20:00
静岡県総合教育センター生涯学習推進班
tel.0537-24-9715

12/2^[±]

講演会

静岡を知る～「静岡県の歌を
中心とした音楽文化にふれる」～

■10階1001-1 ■13:00～
静岡県英和学院大学公開講座委員会
tel.054-262-0091

12/3^[日]

就職

就活準備セミナー

■10階 他 ■13:00～17:00(予定)
(株)静岡新聞社就職ガイド係 tel.054-284-9018

11/18^[±]

グランシップ企画事業

イベント

グランシップ懐かしの映画会 洋画劇場

■2階映像ホール ■10:00～
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

11/18^[±]

グランシップ企画事業

イベント

グランシップ冬のおくりもの2017
オープンシアターデー&クリスマスツリー点灯式

■中ホール・大地 他 ■13:00～ ■入場無料
グランシップオリジナルクリスマスツリーのお披露
目の他、家族で楽しめる館内見学ガイドやコ
ンサートなどイベント盛りだくさん。



グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

11/19^[日]

グランシップ共催事業

音楽

【グランシップ提携公演】
静岡フィルハーモニー管弦楽団
創立40周年記念演奏会

「気軽にクラシックを！静岡フィル広場」

■大ホール・海 ■14:00～
■一般1,000円 子ども・学生500円

創立40周年を迎え、ポップスから映画音楽な
どオーケストラの魅力を楽しめる演奏会。

指揮：福田一雄

曲目：アンダーソン／タイプライター、ワグナー
／ニルンベルグのマイスター・ジンガー 他



NPO法人静岡フィルハーモニー管弦楽団
tel.054-270-3151

11/19^[日]

音楽

ザ・スイング ハード オーケストラ
リサイタル

■中ホール・大地 ■18:00～20:00 ■1,000円
ザ・スイング ハード オーケストラ tel.054-265-2930

11/23^[木・祝]

音楽

らくらくしぎん・しぐ発表会in静岡

■6階交流ホール ■13:30～16:30
楽吟楽舞同好会 tel.090-2139-4666

11/24^[金]・25^[±]

その他

第22回静岡健康・長寿
学術フォーラム

■10階 他 ■24日9:30～17:45 25日10:00～16:30
静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会
tel.054-264-5156

11/4^[±]

グランシップ企画事業

本誌P4～7の詳細をチェック！

音楽

ウラディーミル・フェドセーエフ指揮
チャイコフスキー・シンフォニー・
オーケストラ

■中ホール・大地 ■15:00～
■S席12,300円 A席9,800円 B席7,200円
子ども・学生1,000円

重鎮、フェドセーエフが、チャイコフスキー・シン
フォニー・オーケストラ(旧モスクワ放送交響楽
団)を率いて登場。オールチャイコフスキープロ
グラムと静岡だけの「三大バレエ～フェドセーエ
フセレクション～」をお楽しみください。
曲目：交響曲第6番「悲愴」、「くるみ割り人形」、
「眠りの森の美女」、「白鳥の湖」より



グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

11/12^[日]

グランシップ企画事業

講演会

本誌P10-11のインタビューをチェック！

【グランシップ出前公演】

2017年しずおか連詩の会in三島

■大岡信ことば館(三島市) ■10:00～
■500円

三島市出身の詩人・大岡信氏が提唱したしず
おかが誇る文芸文化を3年ぶりに故郷三島市
で開催。できあがったばかりの詩を詩人自らが
朗読し、解説します。

参加詩人：野村喜和夫、谷川俊太郎、
四元康祐、覚和歌子、大岡亜紀



グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

11/12^[日]

講演会

学んでなっとく！
はじめての介護講座

■2階映像ホール ■10:00～15:00
(社福)静岡県社会福祉協議会
tel.054-271-2174

11/12^[日]

音楽

ふじのくに芸術祭2017
邦楽演奏会

■中ホール・大地 ■13:00～16:00
静岡県三曲連盟 tel.054-237-6602

11/13^[月]

音楽

第26回
チャリティーコンサート
「シャンソンのタベ」

■中ホール・大地 ■17:30～ ■3,000円
シャンソンのタベ実行委員会
tel.090-8337-6466(大村)

11/7^[火]

就職

平成29年度就職面接会
「高校生JOBフェア」

■大ホール・海 ■13:30～16:00
静岡労働局職業安定部 tel.054-271-9958

11/7^[火]～9^[木]

その他

第38回作業環境測定
研究発表会

第57回日本労働衛生工学会
■11階会議ホール・風 他 ■9:30～17:00
■会員5,000円 一般12,000円
(公社)日本作業環境測定協会
tel.03-3456-5852

11/8^[水]

就職

JOBプレゼンツ
転職・就職希望者のための
合同企業面談会シゴトフェア

■大ホール・海 ■13:00～20:00
(株)アルバイトタイムス tel.054-653-3383

11/9^[木]

進学

大学・短期大学・専門学校
進学相談会

■大ホール・海 ■15:45～18:30
(株)昭栄広報名古屋支社 tel.052-581-1661

11/11^[±]

講演会

平成29年度
看護職こころざし育成セミナー

■10階
■13:10～16:10 ※事前申込制(高校生対象)
静岡県ナースセンター tel.054-202-1761

11/12^[日]

その他

第144回
日本小児科学会静岡地分会

■10階 ■9:30～18:00
■2,000円 ※関係者
日本小児科学会静岡地分会
tel.090-7436-5211(クボタ小児科 会長 窪田和興)

2018年4月デビュー!

第21期グランシップサポーター募集中!

「グランシップサポーター」とは?

静岡県コンベンションアーツセンター・グランシップを、職員と共に二人三脚で支えるボランティアスタッフです。2017年12月から研修を行い、2018年4月から正式に活動していただきます。5つの業務があり、それぞれに静岡県の文化振興やグランシップご来館のみなさまのために、積極的に活動しています。

イベントサポーター

募集人数
40名程度

活動日
グランシップ主催共催公演開催日
(半日程度)
活動内容
公演時のチケットもぎり、
場内案内、ドア係など



撮影サポーター

募集人数
5名程度

活動日
グランシップ主催共催公演開催日
(半日程度)
活動内容
公演時による記録撮影、記録写真を
用いた写真展の企画実施
※活動時のカメラは
各自でご用意ください



※応募時に参考写真提出

〈応募要件〉

- 18歳以上(高校生を除く)で県内在住の方
- 月2回以上活動できる方
- 2017年12/9(土)、2018年1/20(土)の事前研修に参加できる方
- イベントサポーターは上記に加え1/28(日)、2/24(土)、3/21(水・祝)に専用の研修があります。
- 託児サポーターは保育士資格のある方
- 文化情報サポーターは、基本的なパソコン操作(Excel・Word・Eメール)ができる方

募集
相談会

各業務の詳しい内容や、サポーターの活動について
詳しく知りたい方は、是非ご参加ください。
10/14(土)10:00~12:00 グランシップ4階会議室

サポーターの声

サポーターになって一年余り、広い館内で迷子になることも無くなりました。広報の仕事は難しいわけではありませんが根気と正確さが必要です。音楽を聞いたり、おしゃべりをしながらも、手はしっかり動きます。びたっと出来た時の達成感、チーム作業ならではのものかもしれません。また見学ガイドをした時、参加者の皆さんの笑顔を見ると、つたない私の案内でも少しはお役に立てたかなと嬉しくなります。グランシップに通う日は足取りも軽くなる私です。上田陽子(広報・イベントサポーター)



広報サポーター

募集人数
40名程度

活動日
決まった曜日の9:30~15:30
(月2回・隔週)、または事務局が
応援を求める日
活動内容
事業チラシ、友の会だより等の
発送作業、館内見学ガイド、
グランシップの広報など事業
運営に関わる広報業務



託児サポーター

募集人数
5名程度

※要保育士資格

活動日
グランシップ主催共催公演、
SPAC主催公演開催日
(半日程度)
活動内容
公演時、託児室で2歳以上
未就学児のお子様のお預かり



文化情報サポーター

募集人数
10名程度

※基本的なパソコン操作ができること

活動日
月ごとのシフトによる活動日
(月2回程度)の10:00~15:00
活動内容
ふじのくに文化情報センターの
管理・運営
静岡県文化情報総合サイト
「ふじのくに文化情報」の
管理・運営



〈応募方法〉

指定の応募用紙に必要事項を記入の上、
(公財)静岡県文化財団まで郵送または持参ください。
なお、託児サポーターを希望の方は保育士資格証明書の写し、
撮影サポーターを希望する方は、ご自身が撮影した写真を
応募用紙とともに提出してください。
(応募用紙はグランシップホームページからダウンロードできます)
応募者多数の場合は、書類による選考を行います。
応募締切: 2017年10月31日(火)

〈応募・お問い合わせ先〉

〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4
グランシップ内・(公財)静岡県文化財団 事業課
TEL.054-203-5714 FAX.054-203-5716
E-mail info@granship.or.jp

グランシップでの活動では、サポーターの先輩たちと活動することで、子どもたちをメインとしたGWのイベント「こどものくに」や各事業で幅広い年代の人と関わり、多くのことを学ぶことができました。事前研修やグランシップで経験したことはこれからの活動で生かせることばかりです。将来役立つ知識や経験を得られるため、たくさんの学生の参加も待っています。橋ヶ谷侑生(イベントサポーター)



グランシップを飛び出して、きみ住むまちへ!アウトリーチ活動

グランシップ 子どもアート体験! 学校プログラム

たくさん子どもたちに
本物の芸術をお届けする、
アウトリーチ活動を実施しています。

STAGE

グランシップ子どもアート体験!学校プログラム 『人形浄瑠璃 文楽』出前講座

2017.7.13(木) 磐田市立豊田中学校 3年生 125名
2017.7.14(金) 御殿場市立御殿場南小学校 6年生139名
講師:人形浄瑠璃文楽座(豊竹咲甫大夫、鶴澤清志郎、吉田一輔、
吉田玉翔、吉田義太郎、吉田義悠)



グランシップが一流のアーティストとともに、県内の学校へ向く「グランシップ子どもアート体験!学校プログラム」。今回は、ユネスコ無形文化遺産である「人形浄瑠璃 文楽」の出前講座を磐田市立豊田中学校と御殿場市立御殿場南小学校で実施しました。文楽は、太夫、三味線、人形遣いが揃ってはじめて成立する人形劇。ほとんどの児童生徒のみなさんが、文楽を見たことがないということから、はじめに文楽という舞台が成立した歴史や、文楽という名前の由来などを説明しました。その後、文楽座のみなさんが、太夫、三味線、人形遣いの順にそれぞれの役割や道具の説明など、実演を交えながら分かりやすく解説。太夫の声の迫力や響きに驚いたり、文楽の三味線は演奏楽器ではなく効果音などの演出的役割が大きいく、太夫と息を合わせて音を出していることを知ることができました。人形遣いの解説では、ひとつの人形を3人で遣うこと、足遣い、左遣いの修行はそれぞれ10年ほどかかるということにびっくりしているようでした。また、普段見られない人形の仕組みを見た後、人形遣いに挑戦。見た目よりもずっしりと重い人形を片手で持つ主遣い、自分の右手で人形の左手を操

作する左遣い、中腰の姿勢のまま人形の足を動かす足遣いなど、人形遣いからは正面の人形の様子が見えないうこと、3人で息を合わせる難しさを感じました。最後には、体育館の舞台とは思えない演出で「伊達娘恋緋鹿子」火の見櫓の段」を文楽座のみなさんが披露し、全員で鑑賞しました。日本が世界に誇る伝統芸能について、小学生や中学生のみなさんが理解を深め、実際に体験することで日本文化に誇りを持ち、その素晴らしさを世界に発信できる大人になってほしいですね。



知らない世界は子どもにとって将来の選択肢となり、将来を考えるきっかけとなると思いました。(先生)

人形を動かす仕組みがずっと昔からあると思うと、伝統のすごさを感じた。(生徒)

このような素晴らしい伝統芸能が身近にあったことを知らなかった自分が恥ずかしく感じた。(生徒)



撮影:グランシップサポーター瀬下 勇



ふじのくに文化情報センター通信 vol.10

今回は、(公財)静岡県文化財団・ふじのくに文化情報センターの文化をささえる取り組み、助成、顕彰、提携事業と相談窓口をまるごとご紹介。最新情報はふじのくに文化情報サイトにてお知らせ！

募集中!

平成29年9月30日締切

第31回ふじのくに 地域文化活動賞

地域文化を育て、活力ある郷土づくりに貢献し、県内各地で優れた文化芸術活動に取り組む団体を表彰します。

【賞】 地域文化活動賞：賞状と楯、賞金10万円
地域文化活動奨励賞：賞状と楯、副賞

募集期間／平成29年10月～12月15日

平成30年度 グランシップ提携公演

グランシップを「ステージ」に公演をしてみませんか？
共催事業としてサポートします。

【サポート内容】

- ① 公演当日の施設使用料免除
- ② グランシップ広報媒体による告知
- ③ 公演日の運営面でのサポート
(チケットもぎり、会場案内など)

募集期間／平成30年1月～3月末

平成30年度ふじのくに文化プログラム推進事業補助金

あらゆる人々が参加・体験し、静岡県の多様な文化芸術を発展・継承させ、
その価値を県内外、国内外に発信する文化芸術活動に助成します。

平成29年度補助金交付団体(上限30万円)

①事業補助

浜松少年少女合唱団
街援隊アート・ムーブ
浜松インドネシア友好協会
静岡市民ミュージカル実行委員会
ミングルビレッジ実行委員会
浜松オペラ合唱団

知半アートプロジェクト実行委員会
TO BE FREE実行委員会
富士宮プレミアムコンサート合唱団
日本茶道塾
三島グロリア合唱団
シアタープロジェクト静岡

②団体補助

古谿荘に親しむ会
一般社団法人シンフォニエッタ静岡
登呂会議
特定非営利活動法人伊豆学研究会
特定非営利活動法人クロスメディアしまだ

募集に関するご質問、活動でのお困りごとは 「文化芸術の総合相談窓口」へ！



ふじのくに文化情報センター長
平野雅彦

6月よりセンター長の窓口相談日がスタート！
平野雅彦ふじのくに文化情報センター長が相談を直接伺います。
まずはお気軽にご連絡ください。

センター長の窓口相談日

10月1日(日)13:00～17:00 11月9日(木)15:00～19:00
12月9日(土)13:00～17:00 ※ご希望の方はご予約をお願いいたします。

TEL.054-203-5721
WEBフォーム www.shiz-bunka.com/contact

イベントのお知らせ

10/15[日] 13:00～
ふじのくに
文化情報フォーラム2017秋

10/28[土]・29[日]
グランシップ文化講座
「ゲノムと人間の未来」

グランシップ1階
[TEL] 054-203-5721
[E-MAIL] info@shiz-bunka.com
[HP] www.shiz-bunka.com
[Facebook] www.facebook.com/shiz.bunka/



ささえる、つなげる、創造する

ふじのくに文化情報センター

FUJINOKUNI Art / Culture INFORMATION CENTER

グランシップ主催公演・イベントが、よりオトクになる！

グランシップ友の会 会員募集中!

グランシップ友の会は、ここ静岡県で、世界の上質で多彩な文化芸術に気軽に親しめるよう、様々なサービスを提供します。



♪ グランシップ友の会会員だけの特別な情報や特典をお届けします。 ♪

特典 1 ポイントがたまる・使える

特典 3 催事情報のご案内

特典 2 チケット先行予約・購入

特典 4 提携店での割引サービス

🎵 会員スペシャル特典 同時入会の方もOK! 🎵

11/19[日]

■14:00～ ■大ホール・海

静岡フィルハーモニー管弦楽団創立40周年記念特別演奏会

「気軽にクラシックを! 静フィル広場」(グランシップ提携公演) に、

抽選で150名様ご招待!

ご希望の方は、往復ハガキに必要事項 ①氏名(カナ) ②郵便番号 ③住所 ④電話番号 ⑤希望人数(会員1名につきチケット2枚まで) ⑥会員番号を記入し、
下記住所に送付するか、グランシップホームページ専用申込フォームよりお申込みください。《応募締切: 10/15(日)》
結果はハガキまたはメールにて連絡。詳しくは、グランシップホームページをご覧ください。

《宛先》〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4 グランシップ友の会「静フィル広場」係

ご入会方法

専用の申込書、WEBフォームからお申込みができます。
申込書はグランシップチケットセンター窓口または郵送にて受け付けています。

※グランシップWEBサイト上に記載の「グランシップ友の会」個人会員規約をご確認の上お申し込みください。

入会受付
お問合せ

グランシップチケットセンター

TEL 054-289-9000

(営業時間10:00～18:30)

E-MAIL info@granship.or.jp

グランシップ内レストラン・カフェ 「GRAN TERRACE」が オープンしました!

こだわりの静岡県産の食材を使用し、
一品一品丁寧にご提供します。
キッズスペースもご用意していますので、
お気軽にお立ち寄りください。



《メニュー例》

◆天然南鰯の赤身漬け丼
(小鉢・漬物・味噌汁付き) 1,000円

◆沼津港鰯フライ膳
(ライス・サラダ・小鉢・漬物・味噌汁付き) 980円

◆由比港桜えびのかき揚げ丼
(小鉢・漬物・味噌汁付き) 950円

◆清水港鰯のカマの煮付け膳
(ライス・サラダ・小鉢・漬物・味噌汁付き) 950円

◆富士肉汁たっぷりセレ豚のメンチカツ膳
(ライス・サラダ・小鉢・漬物・味噌汁付き) 980円

◆キッズプレート(ドリンク付き) 700円

◆豆腐ドーナツパフェ 各種580円

◆コーヒー 450円

◆グリーンスムージー 550円

◆静岡温州みかんジュース 450円 他



GRAN TERRACE(グランテラス) 11:00～16:00 ※ご予約のパーティーは22:30まで

TEL.054-204-5888 (店休日はグランシップ休館日に準ずる)

地域の活性化に取り組む文化施設

さあ、行こう！あなたの街で文化の幕開け！

アートもカルチャーも、決して遠いところにはありません。身近な施設にも文化芸術に触れるチャンスがありますよ。

浜松市勤労会館 Uホール

浜松市

【住所】〒432-8011 浜松市中区城北1-8-1
【TEL】053-474-3771 【FAX】053-474-3783
【URL】http://workn.or.jp/u_hall/
指定管理者：浜松市勤労福祉教会・三幸共同事業体



Uホールの愛称で親しまれ、549名収容可能のホールは、地元の音楽家の皆さんからも自然で美しい響きと高い評価を受けています。また、会議室と和室も備え、研修会から同好会等の会合と幅広くご利用できます。

アクトシティ浜松

浜松市

【住所】〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1
【TEL】053-451-1111 【FAX】053-451-1123
【URL】http://www.actcity.jp/
指定管理者：公益財団法人浜松市文化振興財団



日本初の4面舞台を持ち、本格的なオペラや歌舞伎が上演可能な大ホール、パイプオルガンを備え音響に優れた中ホールの他、会議室、展示イベントホール、商業施設やホテルを併設したJR浜松駅直結型の複合施設です。

ケヴァントハウス弦楽四重奏団 12/5(火)19:00～
世界に名を馳せるライブソビ・ケヴァントハウス管弦楽団の首席奏者を中心に結成された200年を超える世界最古のカルテット！世界最高峰の響きをご堪能ください。

藤枝市民会館

藤枝市

【住所】〒426-8722 藤枝市岡出山1-11-1
【TEL】054-643-3931 【FAX】054-643-3966
【URL】http://fsk-hall.jp/
指定管理者：株式会社アス・藤枝オリコミピーアール グループ



藤枝市の文化拠点として、多くの市民に親しまれています。各種コンサート、発表会、講演会、演劇など、様々な催事が開催されています。耐震リニューアル工事の際には、新たに別館を増設し、各種会議、音楽等の練習ができるスペースが設けられ、総合文化施設としての機能が充実しました。

フジハロ17 10/28(土)10:30～
世代をこえ、仮装を楽しみながらのハロウィンパーティー！
LIVE、DANCE、GAMEと1日楽しめます。

静岡市清水文化会館 マリナート

静岡市

【住所】〒424-0823 静岡市清水区島崎町214
【TEL】054-353-8885 【FAX】054-353-8111
【URL】http://www.marinart.jp/
指定管理者：清水文化事業サポート株式会社



JR清水駅直結でアクセスは抜群。1,513席の大ホールと292席の小ホールに加え、ギャラリー、リハーサル室などがあります。公演の鑑賞はもちろん、サークルなどの活動や発表会の場としても、是非ご利用ください。

photo by Shigeo Ogawa

須川展也(サクソフォン&指揮)×東京佼成ウインドオーケストラ 9/24(日)15:00～
国内外で活躍するサクソフォン奏者・須川展也プロデュースの吹奏楽ファン垂涎のプログラム。日本を代表する吹奏楽団“東京佼成ウインドオーケストラ”の音をマリナートのホールでぜひ体感ください。

沼津市民文化センター

沼津市

【住所】〒410-0832 沼津市御幸町15-1
【TEL】055-932-6111 【FAX】055-933-2049
【URL】http://numazu-kousya.jp/culture/
指定管理者：公益財団法人沼津市振興公社



昭和57年に沼津市の文化の殿堂として開館して今年で35年。コンサート、演劇、伝統芸能など様々な分野の作品を提供しています。また、市民の創作活動や学習活動の発表の場として、幅広く利用されています。展示室、会議室、和室、リハーサル室も是非ご利用ください。

第9回プラスの祭典in沼津～ばんだが沼津にやってくる！～
11/18(土)15:00～
東京藝術大学出身者を中心として結成されたフレッシュな吹奏楽団“ばんだウインドオーケストラ”精鋭なプレイヤーのアツイ演奏は乞うご期待。

富士宮市民文化会館

富士宮市

【住所】〒418-0067 富士宮市宮町14-2
【TEL】0544-23-1237 【FAX】0544-22-1494
【URL】http://www.fujinomiya-kosya.com/bunka/
指定管理者：公益財団法人富士宮市振興公社
株式会社エスピーエスたくみ



富士山世界文化遺産の構成遺産、富士山本宮浅間大社の西側に位置し、会館正面から富士山が大きく見える環境にある施設です。昭和56年に開館して以来、コンサート、発表会、展示会など市民の文化活動の場として大切に利用されています。

宮のおながく会 vol.8～舞台の魅力をあなたへー富士宮オペラ合唱団「カヴァレリア・ルスティカーナ」・オペラ名曲集～ 10/15(日)14:00～
富士宮市に縁ある音楽家のクラシックコンサート。今年は市民合唱団とソリストたちの共演でオペラを上演します。

こどもに、大人に、きちんと伝えよう 地域の文化

文化芸術は人をつくり、まちをつくり、未来をつくります。
県内各地で優れた文化活動を行っている団体をご紹介します。

駿河半紙技術研究会

富士宮市

●美術(絵画、工芸等) ●代表／内藤恒雄 富士宮市弓沢町150(富士宮市役所内)

産業から文化へ。手漉きの妙技を伝えていく。

富士宮市では江戸時代に三極(みつまた)を用いた手漉きが盛んとなり、「駿河半紙」として各地へ流通したという歴史があります。「駿河半紙技術研究会」は、こうした歴史や技術を正しく伝え、後継者の育成や地域文化の創造に努めています。県内唯一の手漉き和紙生産者で会長の内藤恒雄氏が、実技研修会を開くほか、イベントでの手漉き和紙体験を通じて「駿河半紙」の歴史をPR。地元小学校の「和紙による卒業証書づくり」もサポートしています。多彩な経歴を持つ会員が多いことから、こうした会員を講師に文化講演会を開き、一般の方からも好評を得ています。平成26年、「和紙：日本の手漉和紙技術」ユネスコ無形文化遺産登録を機に、手漉き和紙は産業から文化へ。この素晴らしい日本の伝統を、今後海外にも広めていく考えです。



手漉き和紙は日本独自で世界に誇る手仕事。その伝統と技術を次世代へ継承することで地域の文化を創造しています。

梅園ジャカランダ遊歩道を美守る会

熱海市

●文化支援(文化と社会をつなげる活動) ●代表／峯野喬造 熱海市下多賀331-11

市民の力で人を呼び、地域を元気に。

熱海の発展を願う篤志家の私費により、素晴らしい庭園へ再整備された「熱海梅園」。その環境を守り、訪れた人たちを温かくもてなす手助けをしようと、市民有志によって8年前に発足しました。毎月2回、園内の緑化作業や景観美化に努めるとともに、研修会を開いて熱海梅園への理解を深め、来園客にその魅力を伝えています。毎年「梅まつり」期間中はJR来宮駅構内に案内所を特設、近年増加する外国人観光客の対応を考慮して、語学堪能な会員を複数配置し、梅園までの道案内や市内の名所・旧跡などを紹介。3カ国語表記による案内板や手荷物預かりが、外国人観光客に大変重宝されています。ちょっとした会話にもジョークを交えるなど、明るい対応を心掛けています。現在は、熱海サンビーチ前に広がる「ジャカランダ遊歩道」の美化にも取り組み、活動の場を拡大。新生熱海の活性を支えています。



平成27年に完成した「ジャカランダ遊歩道」。新たな観光名所を市民の手で守ろうと、月1回活動するほか、会員が日々巡回して美化に努めています。

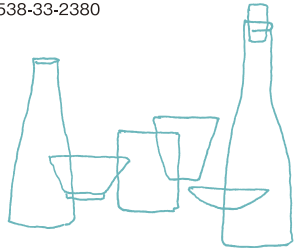
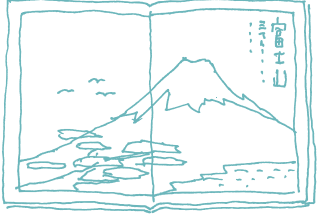


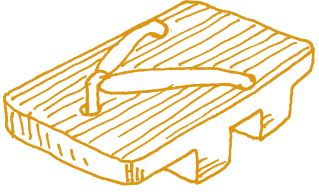
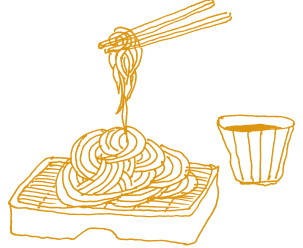
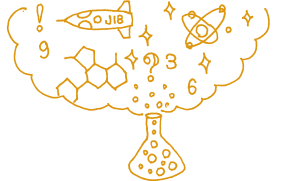
10/15【日】 9:00～17:00 自然観察フィールドワーク 安倍川源流大谷崩 東海大学自然史博物館 高校生以上2,500円、4才～中学生1,750円 ※要予約 【問】東海大学自然史博物館 tel.054-334-2385	10/7【土】 16:30～ 三保羽衣薪能 三保「羽衣の松」前特設能舞台 一般6,000円、大学生以下2,000円 【問】羽衣まつり運営委員会 tel.054-221-1040	中 部 for Central
	10/7【土】～10/9【月・祝】 9:00～16:00 秋の山野草展 駿府匠宿 【問】駿府匠宿 tel.054-256-1521	
10/17【火】～11/5【日】 10:00～17:00他 めぐるリアート静岡2017 東静岡駅北口「アート&スポーツ／ヒロバ」他4会場 【問】静岡大学教育学部美術教育講座 tel.054-237-9540	10/7【土】～10/9【月・祝】 清水にぎわい落語まつり 静岡市清水文化会館マリナートほか 2,000円～5,500円 【問】静岡市清水文化会館マリナート tel.054-353-8885 ※10/9マリナート公演は完売	開催中～10/25【水】 9:00～17:00 博物館特別展 「二つの東海道五十三次」 ～江戸の広重と昭和の関野準一郎～ 藤枝市郷土博物館・文学館 一般300円 【問】藤枝市郷土博物館・文学館 tel.054-645-1100
10/21【土】 14:00～ T.J.P.P.A.L ファミリーコンサート からだで感じるリズム☆打楽器あれやこれや!! 静岡市清水文化会館マリナート 一般3,000円、小学生以下2,000円 【問】静岡市清水文化会館マリナート tel.054-353-8885	10/7【土】～11/19【日】 9:00～16:30 平成29年度 静岡市文化財資料館 第1回企画展 「版画と写真でよみがえる静岡の原風景」 静岡市文化財資料館 一般200円、中学生以下50円 【問】静岡市文化財資料館 tel.054-245-3500	開催中～11/12【日】 10:00～19:00 日本・デンマーク外交関係樹立150周年記念 デンマーク・デザイン 静岡市美術館 一般1,200円、大高生・70歳以上800円 【問】静岡市美術館 tel.054-273-1515
10/22【日】 10:00～16:00 自然観察フィールドワーク 興津川の生きもの 東海大学自然史博物館 高校生以上1,500円、4才～中学生750円 ※要予約 【問】東海大学自然史博物館 tel.054-334-2385	10/7【土】～12/10【日】 9:30～16:30 戦後の蘭字ー中東とアフリカへ輸出された緑茶ー フェルケール博物館 一般・大学生400円、中高生300円、小学生200円 【問】フェルケール博物館 tel.054-352-8060	開催中～11/19【日】 10:00～17:30 幕末維新 英雄たちの書 ～徳川慶喜、勝海舟、山岡鉄舟、他～ 駿府博物館 高校生以上500円 【問】駿府博物館 tel.054-284-3216
10/27【金】 18:00～ フレンチのタベ フルートとチェンバロの二重奏 ミクニのディナーとともに フレンチ・レストランMIKUNI SHIMIZU 12,000円 ※要予約 【問】静岡市清水文化会館マリナート tel.054-353-8885	10/9【月・祝】 15:00～ アリーナ・イブラギモヴァ ヴァイオリン・リサイタル 静岡音楽館AOI 5,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200	開催中～11/26【日】 9:00～16:30 のれん ー芹沢銈介の原点ー 静岡市立芹沢銈介美術館 一般420円、高・大学生250円、小中学生100円 【問】静岡市立芹沢銈介美術館 tel.054-282-5522
10/28【土】 15:00～ 松田華音ピアノ・リサイタル 大井川文化会館ミュージコ 3,000円 【問】大井川文化会館ミュージコ tel.054-622-8811	10/9【月・祝】 13:00～14:30 講演会「古典派のヴァイオリン」 静岡音楽館AOI 無料(要申込) 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200	開催中～11/26【日】 9:00～17:00 歌川広重 三つの東海道 静岡市東海道広重美術館 ※会期中に展示替えがあります。 一般510円、高・大学生300円、小中学生120円 【問】静岡市東海道広重美術館 tel.054-375-4454
11/3【金・祝】～12/17【日】 9:00～17:00 博物館30周年記念特別展 「静岡ゆかりの名刀展」 藤枝市郷土博物館・文学館 一般400円、中学生以下無料 【問】藤枝市郷土博物館・文学館 tel.054-645-1100	10/14【土】 14:00～ 静岡交響楽団 第75回定期演奏会 ベートーヴェン・シリーズvol.9 「ドイツ・クラシック音楽の神髄!」 静岡市清水文化会館マリナート A席4,500円、B席3,500円、学生1,500円 【問】特定非営利活動法人静岡交響楽団 tel.054-203-6578	開催中～12/30【土】 10:00～11:00 絵になった猫 展覧会Ⅱ ー世界の猫大集合 日本人形博物館・日本招き猫館 大人600円、高・大学生200円、小中学生100円 【問】日本人形博物館・日本招き猫館 tel.054-252-3356
家康も愛した秋の新茶 お茶を好んだ徳川家康は初夏に摘んだ新茶を熟成させて、秋にも堪能したといわれています。秋になるとお茶屋さんで見かける「蔵出し茶」は、まさにそのもの。低温熟成で旨みが引き出されてとってもまろやか。家康気分でご賞味あれ。	10/14【土】 18:00～ 第17回「静岡音楽館AOIコンサート企画募集」事業 テレマン没後250年 ピリオド楽器で楽しむ パリ四重奏曲 静岡音楽館AOI 2,500円 【問】AOSHIMA MUSIC WORKS tel.050-5884-9119	

11/11【土】～12/23【土・祝】 10:00～17:00 萩尾望都 SF原画展 宇宙にあそび、異世界にはばたく 佐野美術館 一般・大学生1,000円、小中高生500円 【問】佐野美術館 tel.055-975-7278	10/5【木】 18:30～ 宝くじ文化公演 ミュンヘン・パツハ管弦楽団 「オール・パツハ プログラム」 三島市民文化会館 一般2,000円、高校生以下1,000円 【問】三島市民文化会館 tel.055-976-4455
	10/13【金】 18:30～ 宝くじの音楽会 南こうせつ with ウー・ハン ～心のうたコンサート～ アクセスかつらぎ 2,000円 【問】伊豆の国市役所文化振興課 tel.055-949-8600
11/17【金】 18:00～ ザ・グレン・ミラーオーケストラ Japan Tour 2017 三島公演 三島市民文化会館 S席6,500円、A席5,500円 【問】三島市民文化会館 tel.055-976-4455	10/15【日】 14:00～ 宮のおんがく会vol.8 舞台の魅力をあなたへー富士宮オペラ合唱団 「カヴァレリア・ルスティカーナ」・オペラ名曲集 富士宮市民文化会館 一般1,000円、高校生以下500円 【問】富士宮市民文化会館 tel.0544-23-1237
11/24【金】 19:00～ 演奏活動55周年 前橋汀子 ヴァイオリン・リサイタル 富士市文化会館ロゼシアター 一般4,200円、ペア券7,800円(前売のみ)、学生1,000円 【問】富士市文化会館ロゼシアター tel.0545-60-2500	10/22【日】 14:00～ 山形由美&Jスコラーズ 映画音楽と日本の名曲コンサート 沼津市民文化センター 3,000円 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111
11/29【水】 18:30～ 野村万作・萬斎 狂言 長泉町公演 長泉町文化センター ベルフォーレ 前売1階席4,500円、2階席4,000円 【問】長泉町文化センター ベルフォーレ tel.055-989-0001	こしあん派？粒あん派？ 自噴する温泉を見て、蒸すことをひらめいたのが温泉まんじゅうの始まりで、その発祥の地は熱海ともいわれています。温泉まんじゅうといえば、日本一宣言をした伊豆長岡地区も有名。こしあんや粒あん、こってり味やあっさり味……。味比べを楽しんでみては。
12/9【土】～20182/25【日】 9:00～16:30 企画展 「戦地に散った考古学者 江藤千萬樹」 沼津市明治史料館 大人200円、小人100円 【問】沼津市明治史料館 tel.055-923-3335	11/3【金・祝】～12/2【土】 11:00～17:00 ※毎木曜～日曜と11/20～22 第8回知半アートプロジェクト 写真展「記憶のかげら」 伊豆大仁「知半庵」有形文化財 1,800円(11/18のみ2,800円) 【問】知半アート委員会 tel.090-8306-9766
12/10【日】 14:00～ 新沢としひこ&ケロボンズ ファミリーコンサート アクセスかつらぎ 一般2,500円、中学生以下500円 【問】伊豆の国市役所文化振興課 tel.055-949-8600	11/3【金・祝】～12/3【日】 9:00～16:30 静岡県立美術館移動美術展 富士山かくや姫ミュージアム 無料 【問】富士山かくや姫ミュージアム tel.0545-21-3380
秋のドライブデートに 御殿場市を縦断する国道469号沿いは、スキの群生地。初秋は黄金色の穂と緑色の茎のコントラストが美しく、晩秋は全体が色づき黄金色の海のように。晴れた日は富士山も姿を現し、圧巻の眺めです。スキの花言葉は「心が通じる」。大切な人とのドライブに。	11/4【土】・5【日】 10:00～16:00 ごてんばアート・クラフトフェア 国立中央青少年交流の家 無料 【問】ごてんばアート・クラフトフェア実行委員会 tel.0550-70-6660
12/16【土】～20183/4【日】 9:00～16:30 第55回企画展 産業の種蒔く人 富士山かくや姫ミュージアム 無料 【問】富士山かくや姫ミュージアム tel.0545-21-3380	

歩いて、出会って、 こころなごむ 静岡の秋 10月～12月の イベント情報
東 部 for Eastern
開催中～10/10【火】 9:00～17:00 伊東市制施行70周年記念 「素顔の海」伊藤勝敏 海中写真展 池田20世紀美術館 一般1,000円、高校生700円、小・中学生500円 【問】池田20世紀美術館 tel.0557-45-2211
開催中～11/5【日】 10:00～17:00 虫尽くし展 佐野美術館 一般1,000円、小中高生500円 【問】佐野美術館 tel.055-975-7278
開催中～10/22【日】 9:00～17:00 「地頭」と呼ばれた寺院 富士山かくや姫ミュージアム 無料 【問】富士山かくや姫ミュージアム tel.0545-21-3380
9/16【土】～11/26【日】 10:00～17:00 大岡信 追悼特別展 大岡信こば館 大人1,000円、60歳以上800円、高・大学生600円、小中学生300円 【問】大岡信こば館 tel.055-976-9160
こばの宇宙で日本語に目覚めよう 短い文章で世界観を創る詩や歌は、こばの宇宙。そんな、こばの素晴らしさを伝えた詩人が大岡信さんです。出身地の三島市にある「大岡信こば館」は、様々な角度からこばの魅力を伝えてくれます。



11/19[日] 16:00～ 大野恵子 ヴォーカルリサイタル 浜松市福祉交流センター 2,000円 【問】大野恵子 ヴォーカルリサイタル実行委員会 tel.053-473-9412	10/21[土]～11/19[日] 地域芸術祭「かけがわ茶エンナーレ」 掛川市内各所 バスポート 大人1,000円、中学生以下300円 【問】かけがわ茶エンナーレ実行委員会事務局 tel.0537-21-1126	10/1[日] 14:00～ 津軽三味線 澤田勝春コンサート 森町文化会館 一般2,500円 【問】森町文化会館 tel.0538-85-1111
改めて、三ヶ日みかんとは 甘さと酸味のバランスが絶妙な三ヶ日みかん。三ヶ日産のみかんだから三ヶ日みかん。そう、品種ではなくブランド名なんです。品種は何かというと、主には青島や早生(わせ)。10月～12月にかけて出回るのは早生で、皮が薄くてやや小ぶり。みかん狩りでも人気です!	10/22[日] 11:00～/15:00～ IWATA DANCE EVOLUTION 2017 磐田市民文化会館 各500円 【問】IWATA DANCE EVOLUTION 2017運営事務局 tel.0538-35-9569	10/5[木] 10:30～ ゆるやかコンサート秋 ヴァイオリンとピアノ 浜松市浜北文化センター 500円 【問】浜松市浜北文化センター tel.053-586-5151
11/19[日] 15:00～ DANCE DREAM in 磐田 磐田市民文化会館 3,000円 【問】磐田文化振興会 tel.0538-35-7133	10/28[土]～12/17[日] 10:00～17:00 梅原幸雄展—画業40年の軌跡— 平野美術館 大人500円、中高生300円、小学生200円 【問】平野美術館 tel.053-474-0811	10/7[土]～29[日] 9:30～17:00 やわらかな器 海藤博 ガラス作品展 磐田市新造形創造館つくるっぺい 無料 【問】磐田市新造形創造館つくるっぺい tel.0538-33-2380 
11/25[土] 17:30～ 岩崎宏美コンサートツアー Hello! Hello! 森町文化会館 一般6,000円 【問】森町文化会館 tel.0538-85-1111	10/29[日] 14:00～ 演歌・歌謡劇場 in 森町 ～泣いて、笑って、初の3人ステージ～ 夏木ゆたか、田川寿美、大江裕 森町文化会館 一般4,300円 【問】森町文化会館 tel.0538-85-1111	
11/26[日] 10:00～(予定) いわた de 音楽フェスタ2017 磐田市民文化会館、アミューズ豊田、 磐田市新造形創造館つくるっぺい 無料 【問】磐田文化振興会 tel.0538-35-7133	名物コロッケに注目 そり返った形と縞模様がエビのような「海老芋」。日本の約8割が磐田で作られています。高級食材の「海老芋」ですが、地元では手頃な「海老芋コロッケ」が大人気。ほんのり醤油味と海老芋の甘さが絶妙に合い、1,500個を3時間で完売したこともあるとか。食欲の秋にいかが?	10/13[金] 19:00～ 辻井伸行 ウラディーミル・ユロフスキ指揮 ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団 日本ツアー2017 アクトシティ浜松 S席 22,000円、A席 19,000円、B席 16,000円、C席 10,000円 【問】公益財団法人浜松市文化振興財団 tel.053-451-1114
12/2[土]～20181/14[日] 9:30～17:00 所蔵品展 秋野不矩 画業の地平Ⅳ ～古き日を想う～ 浜松市秋野不矩美術館 一般300円、高校生150円 【問】浜松市秋野不矩美術館 tel.053-922-0315	10/31[火]～12/24[日] 9:00～17:00 名所図会 新居関所史料館 310円 【問】新居関所史料館 tel.053-594-3615 	10/14[土] 10:30～12:00 秋の生き物観察会 浜名湖体験学習施設ウォット 310円 【問】浜名湖体験学習施設ウォット tel.053-592-2880
12/17[日] 14:30～ 海援隊 ビリー・パンパン トーク&ライブスペシャル 森町文化会館 一般5,800円 【問】森町文化会館 tel.0538-85-1111		10/14[土]～22[日] 第26回ハママツ・ジャズ・ウィーク アクトシティ浜松ほか浜松市内各所 無料～8,000円 【問】ハママツ・ジャズ・ウィーク事務局 tel.053-462-1125(平日 月～金 10:00～17:00)
12/24[日] 10:30～ ゆるやかコンサート冬 ソプラノとテノールとピアノ 浜松市浜北文化センター 500円 【問】浜松市浜北文化センター tel.053-586-5151	11/5[日] 10:30～/13:30～ 第25回劇団たんばぼ公演 「赤ガラス大明神」 磐田市豊岡東交流センター 前売500円、当日700円 【問】豊かなふる里・明るい子供を育む豊岡の会 tel.0539-62-5481	10/14[土]～20181/14[日] 9:30～17:30 キルトとおとぎ話の世界展 ～驚沢玲子「キルトおぶはーと」～ 磐田市香りの博物館 一般300円、学生200円、小・中学生100円 【問】磐田市香りの博物館 tel.0538-36-8891
イベント情報は ふじのくに文化情報センターへ ◆グランシップ1階のセンターにて 各種チラシ・ポスターを配架・掲示中! ◆「ふじのくに文化情報」サイトからイベントの登録・閲覧ができます。本誌への掲載も! www.shiz-bunka.com	11/11[土]～19[日] 13:30～ 第8回静岡国際オペラコンクール アクトシティ浜松 500円～3,000円、通し券5,000円 【問】静岡国際オペラコンクール実行委員会事務局 tel.053-457-6446	10/15[日] 10:00～15:30 秋のイベントデー 掛川市吉岡彌生記念館 無料 【問】掛川市吉岡彌生記念館 tel.0537-74-5566

12/16[土] 15:00～ 松倉利之「打楽器と遊ぼう!!」 静岡音楽館AOI 2,500円、親子券3,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200	11/24[金] 18:30～19:30 マリナート プレミアム・フライデー コンサート 静岡市清水文化会館マリナート 無料 ※要整理券(事前配布) 【問】静岡市清水文化会館マリナート tel.054-353-8885	11/3[金・祝] 12:00～ 第7回 アマチュア・アンサンブルの日♪ 静岡音楽館AOI 無料(申込不要) 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200
12/17[日] 14:00～ ふじの花交響楽団 第5回定期演奏会 藤枝市民会館 一般1,000円、小・中・高校生500円 【問】ふじの花交響楽団 tel.054-644-2124	足利時代の観月会へタイムトリップ 静岡市丸子の吐月峰楽屋寺には、室町時代の連歌師・宗長が腰かけたという月見石があり、観月の名所とされています。毎年中秋の名月は、「待月軒(たいげつけん)」という作法にそったお茶席や琵琶演奏、お香をたしなむ観月会を開催。由緒ある場で月を愛でるのも一興です。	11/3[金・祝] 時間未定 清水フィルハーモニー管弦楽団 こどものための音楽会 静岡市清水文化会館マリナート 料金未定 【問】清水フィルハーモニー管弦楽団 tel.070-5462-9144
12/24[日] 14:00～ 高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト 「Best Classics Harmony」 焼津文化会館 4,500円 【問】焼津文化会館 tel.054-627-3111	11/25[土]～12/17[日] 9:00～16:30 特別公開! よみがえった少彦名神社 墓股彫刻(仮) 静岡市文化財資料館 一般200円、中学生以下50円 【問】静岡市文化財資料館 tel.054-245-3500	11/8[水] 19:00～ DRUM TAO「ドラムロック 疾風」 焼津文化会館 S席7,000円、A席6,500円 【問】焼津文化会館 tel.054-627-3111
西部 for Western		
開催中～10/15[日] 10:00～17:00 街道を旅する人々～北斎・広重を中心に～ 平野美術館 大人500円、中高生300円、小学生200円 【問】平野美術館 tel.053-474-0811	11/25[土] 18:00～ マーク・バドモア テノール・リサイタル 静岡音楽館AOI 4,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200	11/11[土] 18:00～ AOI・レジデンス・クワルテット with 菅沼準二 静岡音楽館AOI 3,500円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200
開催中～10/15[日] 10:00～17:00 街道を旅する人々～北斎・広重を中心に～ 平野美術館 大人500円、中高生300円、小学生200円 【問】平野美術館 tel.053-474-0811	11/25[土] 18:00～ マーク・バドモア テノール・リサイタル 静岡音楽館AOI 4,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200	11/15[水] 14:00～/19:00～ ワンコインコンサート コルミッコ～北欧からの深い森の音～ 焼津文化会館 500円 【問】焼津文化会館 tel.054-627-3111
開催中～10/29[日] 9:00～17:00 東海道中絵巻 新居関所史料館 310円 【問】新居関所史料館 tel.053-594-3615	12/1[金]～3[日] 9:00～16:00 静岡下駄職人展 駿府匠宿 【問】駿府匠宿 tel.054-256-1521 	11/23[木・祝]～26[日] 9:30～16:00 第9回駿府そば祭り 駿府匠宿 【問】駿府匠宿 tel.054-256-1521 
9/16[土]～11/26[日] 9:30～17:00 記念企画展「浜松市美術館コレクション選」 ～近現代日本絵画の道筋～ 浜松市秋野不矩美術館 大人300円、高校生150円 【問】浜松市秋野不矩美術館 tel.053-922-0315	12/12[火] 14:00～/19:00～ 舞台「スマートモテリーマン講座」 静岡市清水文化会館マリナート S席7,800円、A席6,000円 【問】静岡市清水文化会館マリナート tel.054-353-8885	11/23[木・祝] 10:00～16:00 しずおか中部連携事業 サイエンスキッズ育成事業 「あつまれ! ふしぎひろば」 静岡科学館る・くる 参加無料(要入館料) 【問】静岡科学館る・くる tel.054-284-6960 
	12/16[土] 14:00～ 静岡交響楽団 第76回定期演奏会 ベートーヴェン・シリーズvol.10 県民参加による「歓喜の歌」第九コンサート 静岡市清水文化会館マリナート 料金未定 【問】特定非営利活動法人静岡交響楽団 tel.054-203-6578	

20周年を迎えたSPACがお届けする、笑いや驚きに満ちた4作品。
SPACのシーズンプログラムでは、選りすぐりの演劇作品を静岡芸術劇場で上演しています。



撮影:三浦興一

#1 チケット販売中

病は気から

蜷川幸雄氏から「1万人のゴールド・シアター2016」を引き継ぐなど、今最も注目を集める演出家・ノゾエ征爾。フランスを代表する劇作家・モリエールの喜劇をポップな現代劇に仕立てた。病気だと思いついて入っている主人公をはじめ、自分のことで精一杯でちょっとおかしい人々がくり広げるドタバタコメディ。

10/7[土]・8[日]・14[土]・15[日]・21[土]・22[日]
各日 14:00開演

潤色・演出:ノゾエ征爾 原作:モリエール
出演:SPAC／阿部一徳、石井萌水、泉陽二、大高浩一、榎原有美、
本多麻紀、牧山祐大、山口航太(50音順)



撮影:三浦興一

#2 チケット販売中

変身

ある朝、自分が一匹の巨大な毒虫に変わっているのに気付いた――。カフカの名作を、ジャンルにとらわれない多彩な活躍で話題をさらう小野寺修二が演出。マイムをベースにした身体表現に台詞を取り入れる独自の手法で、不条理な世界をスタイリッシュな舞台に変容させる。

11/18[土]・19[日]・25[土]・26[日]・
12/3[日]・9[土]・10[日]

各日 14:00開演

演出:小野寺修二 原作:フランツ・カフカ 音楽:阿部海太郎
出演:SPAC／大高浩一、貴島豪、榎原有美、鈴木真理子、たきみき、武石守正、
館野百代、野口俊丞、宮城嶋遥加、吉見亮(50音順)

#3 10/14チケット発売

しんしゃく源氏物語

『源氏物語』のなかで唯一の不美人・末摘花は、荒れ果てていく屋敷で光源氏を待ち続ける。一途でのんきで時にピンボケな姫のふるまいに侍女たちは翻弄され…。SPAC最多公演記録を誇る人気レポートリーが7年ぶりに登場。

2018年1/13[土]・14[日]・21[日]・27[土]・
28[日]・2/3[土]・4[日] 各日 14:00開演

演出:原田一樹 作:榎原政常 出演:SPAC

#4 10/14チケット発売

オセロー

黒い肌の軍人オセローと、ヴェネツィア貴族の娘デズデモナのあまりにも純粋な恋。仏アヴィニョン演劇祭のオープニングで絶賛を受けた宮城聡が、シェイクスピア悲劇を「夢幻能」の形式でたどる。

2018年2/11[日・祝]・18[日]・24[土]・25[日]・
3/3[土]・4[日]・11[日] 各日 14:00開演
(2/24(土)のみ18:00開演)

演出:宮城聡 原作:シェイクスピア(小田島雄志訳より)
謡曲台本:平川祐弘 出演:SPAC

チケット	一般 ゆうゆう割引 学生割引	1公演 4,100円 1公演 3,400円(満60歳以上対象) 大学生・専門学校生 1公演 2,000円 高校生以下 1公演 1,000円 ※その他各種割引あり	チケット 購入方法	電話予約／SPACチケットセンター(受付時間10:00～18:00) TEL : 054-202-3399 ウェブ予約／www.spac.or.jp/ticket
------	----------------------	---	--------------	---

秋→春のシーズンの詳細はSPAC公式サイトをご覧ください。 www.spac.or.jp

Twitter 公式アカウント @_SPAC_ Facebook公式ページ SPACshizuoka

お得な会員になって秋→春のシーズンを楽しもう。年間3公演ご招待！チケット割引や先行予約などの特典がございます。



阿部 一徳 (あべ・かずのり)

東京葛飾生まれ。大学時に劇団綺崎に参加。1990年宮城聡の呼びかけによりク・ナウカの旗揚げに参加し、以後、国内外すべての公演に出演。他劇団への客演も多数。98年に開始した一人芝居シリーズも好評を博している。2009年よりSPACに参加。肉体を駆使した発声術・台詞術は国内にとどまらず、海外各国の演劇祭でも高い評価を得ている。SPACでの最近の主な出演作品に『マハーバーラタ』『黒蜥蜴』『冬物語』『アンティゴネ』(演出:いずれも宮城聡)など。

重厚な語りからコミカルな役まで、幅広いキャラクターを変幻自在に演じるSPAC俳優・阿部一徳。5年ぶりの再演となる『病は気から』への意気込みを聞いた。

——俳優として演じる際に心がけていることを教えてください。

大事にしているのは、「より正確に、より自由に」ということです。「ゆっくりにそげ」「みたいで矛盾しているようですね」。

僕ら俳優の仕事には、「再現する」という要素があります。そもそも芝居というものの自体が、脚本を現実世界に再現するものですし、稽古も、本番で再現すべきことを身体に入れていく作業です。ですから、稽古でも本番でも、常に「演じている自分を見ている自分」という感覚が必要です。これ無しには再現することはできませんし、この感覚によって、演技の「正確さ」が担保されます。

しかし、単なる再現、つまり「なぞってしまふ」ようなやり方ではダメなんです。それではどんな新鮮さが失われていく。正確さを意識しながらも、まるでその時が初めてであるかのごとく、いかに自由にやれるかが重要です。

——今回の『病は気から』ではどうでしょうか。

今回のような喜劇では客席から笑いが起きます。この「笑い」って、俳優にとつてかなり気持ちの良いものなんです。反応としてダイレクトです。ただ反応が良ければ良いほど前の日

のうまくいった演技を「なぞって」しまいがちになる。いかに前日と同じことをしないかが大切で、そのためには、本番が終わったら、今日のことは全部忘れるくらいがちょうどいい。良かったときほど忘れる。これはどんな舞台でも同じかもしれません。

でも、「笑い」はついてもちやうんですよ。余計な色気が出て(笑)。「あそこがウケたから次はもう少しこうしよう」とか。そうやって変な色気を出すと、たいてい失敗する。お笑いのネタみたいになつてしまふ。「演じる」ということから程遠いところへいつてしまふ。そこが喜劇の難しいところです。

——喜劇の難しさですが。

ええ、喜劇は難しいです。役づくりのためにするべき作業も多い。そして徹底した真剣さ、必死さが必要です。喜劇の笑いは、「こーやれば笑うよね」というネタ的なものではないんです。「これは笑い事じゃないんだぞ」と、とことん真剣にやっつて、はじめてお客様は笑ってくれる。登場人物が必死であればあるほど笑えるわけです。

ラクターはどのような印象ですか？

自分がいったん「こーだー」って思い込むと、なかなかそこから抜け出せなくなっちゃう。そういうところがいいかも人間らしくて愛おしい。かわいいというか。ものすごく一生懸命生きている人ですから。この芝居ではアルガンの家族を含めて、登場人物はみんな真剣で、必死に生きている。愛おしい男と、愛おしい人々です。

——最後に、今回の公演への意気込みを。

僕自身、すごく楽しみです。演出のノゾエ征爾さんも台本をけっこう変えてくるかもしれないです。こちらもち演にこだわらず、気持ちも新たに作り込んで、パワーアップした笑いを届けたいですね。とにかく、「ひとつでも多くの笑いを」がテーマなので(笑)。

それから、ノゾエさんの演出では、「アルガンを演じる作者モリエールを阿部が演じる」という設定になっています。このSPAC版で見られたい多量構造もぜひ楽しんでください！(2017年8月 静岡芸術劇場にて)



美しき庭園画の世界

将軍、大名、文人、富豪、そして画家……
江戸時代の人々を熱狂させた
〈庭園画〉とは何か？

2017

10 / 21 (土) — 12 / 10 (日)

前期 | 10月21日(土) ~ 11月12日(日)

後期 | 11月14日(火) ~ 12月10日(日)

開館時間 | 10:00 ~ 17:30 (展示室への入室は17:00まで)

休館日 | 毎週月曜日

観覧料 | 一般800円(600円)、70歳以上400円(300円)、大学生以下無料

* (1) 内は前売および20名以上の団体料金

* 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料

* 収蔵品展・ロダン館も併せてご覧いただけます

主催 | 静岡県立美術館



江戸絵画にみる
現実の理想郷



(上右) 狩野養信「鷹狩図屏風」(板橋区立美術館)

(上左) 池大雅「蘭亭曲水図屏風」(静岡県立美術館) 重要文化財(部分)

(下) 狩野山雪「長恨歌絵巻」(サントリー美術館)(部分)

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

秋の県立美術館、 ロダン没後100年に寄せて。

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

つながる、次へ

日本有数のロダンコレクションを誇る県立美術館が贈る、ロダン没後100年の特別展。
彫刻家ロダンと写真の関係をシリーズで紐解く。

2017年、彫刻家オーギュスト・ロダンの没後100年に当たる年を記念して、ロダンとの関係深い県立美術館よりシリーズ3部による小企画展を開催する。写真術が誕生した19世紀。多くの芸術家が積極的に活用したこのメディアは、ロダンも例外ではなく、自作の彫刻を撮影させて写真を展覧会に出品するという手段をとった。本企画では、ロダンと写真を直接に物語る作品だけでなく、新旧様々な作品／テーマを組み合わせ、新たなロダンを再考する試みとなっている。



オノデラユキ「Muybridge's Twist No. 3」2015年
チャコール、クレヨン、写真、キャンバスにコラージュ 個人蔵 ©Yuki Onodera

「動き」を求めて
マイブリッジ、ロダン、オノデラユキ
9/5[火]~10/9[月・祝]

動画誕生以前、連続する動きを複数のカメラで写真に収めたエドワード・マイブリッジ、動きの表現を追求し続けたロダン。そして、マイブリッジへのオマージュ作品を同じく写真で表現する現代の写真家オノデラユキ。静止芸術における動きを追求した3人の作品を紹介していく。

会期中イベント アーティストトーク

「オノデラユキ “写真”を超えて“物語”を紡ぐ」ほか



ウジェーヌ・ドリュエ「地獄の門」1900年
ゼラチン・シルバー・プリント(ファクシミリ)

フォーカス! 《地獄の門》
ロダンの彫刻写真、
安斎重男による《地獄の門》

10/11[水]~11/12[日]

ロダンが半生を費やして制作した代表作《地獄の門》。ロダンの生前に撮影され、大作の秘密に迫ったとされる写真(ファクシミリ)と、国立西洋美術館収蔵の《地獄の門》の細部に肉薄した安斎重男の連作から、今改めてその魅力に迫っていく。

会期中イベント 学芸員による美術講座

「ロダン没後100年と《地獄の門》」ほか

彫刻を撮る
ロダン、ブランクーシの彫刻写真
11/14[火]~12/17[日]

写真を積極的に活用するも、自ら撮影することは決してなかったロダンとは対照的に、彼と交流のあった彫刻家ブランクーシは自らアトリエの演出・照明・撮影を行った。ロダンとブランクーシにおける彫刻・アトリエ・肖像を撮影した写真から、その相違や彫刻家と写真の関係を再考していく。

会期中イベント

静岡シネ・ギャラリーとのコラボ
映画「ロダン カミューと永遠のアトリエ」
関連イベント ほか



アンリ・マニエール「右手を前に差し出すアトリエのロダン」1911年
ゼラチン・シルバー・プリント(ファクシミリ)

今年も開催、ロダンウィーク!

ロダンやその作品の魅力を再発見していただくロダンウィーク。マルシェ、コンサートのほか、ワークショップやギャラリートークなども開催します。盛りだくさんのイベントでお楽しみください。

11/3[金・祝] 丘の上の
ロダンマルシェ

10:00~16:00

会場 / 静岡県立美術館
正面広場ほか

チーム草薙マルシェがプロデュース。今年もこだわりのグルメ、雑貨、パフォーマンスが充実。お楽しみに!
※荒天中止



「静岡の名手たち」
11/4[土] ロダン賞コンサート

14:30 開演

会場 / 静岡県立美術館 ロダン館

出演 / 金子昇馬(箏)、戸村愛美(サクソフォン)、
松本佳子(ピアノ)

曲目 / 沢井忠夫《讃歌》、
P.モリス《プロヴァンスの風景》ほか

※収蔵品展・ロダン館観覧料一般¥300が必要です。
大学生以下、70歳以上無料

11/5[日] ロダンのいたパリ

14:00 開演(上演時間60分程度)

会場 / 静岡県立美術館 ロダン館

出演 / 長谷川慶岳(作曲)、後藤友香理(ピアノ)
曲目 / 長谷川慶岳《プロローグ》

ドビュッシー《水の上の反映》ほか

※曲目等は予告なく変更されることがあります
※収蔵品展・ロダン館観覧料一般¥300が必要です。
大学生以下、70歳以上無料

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2
総務課Tel.054-263-5755 Fax.054-263-5767
学芸課Tel.054-263-5857 Fax.054-263-5742
テレフォン・サービスTel.054-262-3737

ウェブサイト…<http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

静岡県立美術館 検索

【グランシップ提携公演】 TAKE HEART BEAT Live Vol.3 2018年 3/4(日) 17:30～ 中ホール・大地 前売2,000円(当日2,500円) 前売券販売 12/1(金)～	グランシップ バレンタイン・ジャズ Keiko Lee 2018年 2/10(土) 17:00～ 6階交流ホール 一般5,100円 こども・学生1,000円 友の会先行販売 10/22(日)～28(土) 一般発売 10/29(日)～	グランシップ企画事業 10～12月のチケット発売・ 申込受付情報 井上道義指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団 グランシップ中学生のための音楽会 2018年 1/23(火)・24(水) 各日10:30～/14:00～ 中ホール・大地 1,500円 ※各日若干数販売。1/23年度の部の販売はありません 友の会先行販売 10/22(日)～28(土) 一般発売 10/29(日)～
【グランシップ提携公演】 Chikara 2018 in Shizuoka 2018年 3/11(日) 14:30～ 中ホール・大地 前売一般4,000円(当日一般4,500円) 高校生以下1,700円 前売券販売 12/12(火)～	【アエル・グランシップ共同事業】 0歳から聴こう!ふれあいコンサート 2018年 2/12(月・休) 11:00～ 菊川文化会館アエル 500円 ※2歳以下膝上鑑賞無料 一般発売 11/18(土)～	グランシップ静岡能 2018年 1/27(土) 14:00～ 中ホール・大地 一般5,100円 こども・学生1,000円 友の会先行販売 10/22(日)～28(土) 一般発売 10/29(日)～
グランシップ寄席～柳家喬太郎独演会～ 2018年 3/16(金) 19:00～ 6階交流ホール 一般3,500円 こども・学生1,000円 友の会先行販売 12/10(日)～16(土) 一般発売 12/17(日)～	【グランシップ提携公演】 静岡混声合唱団TERRA 第11回演奏会 2018年 2/12(月・休) 14:30～ 中ホール・大地 1,000円 一般発売 12/1(金)～	【グランシップ出前公演】 「人形浄瑠璃 文楽」事前レクチャー 山川静夫のここがみどころ・ききどころ ～文楽人形遣いにせまる～ 2018年 2/4(日) 14:00～ 御殿場市市民会館 小ホール 一般1,000円 こども・学生500円 ※事前申込制 申込受付開始 12/10(日)～

※グランシップ提携公演は、グランシップチケットセンター窓口のみでの取扱です。その他のプレイガイドは各団体にお問い合わせください。

TICKET **グランシップ企画事業の公演チケットは、以下の方法でお求めいただけます。**(ご購入の際には、友の会へのご入会がオトクです。P22参照)

グランシップWEBサイトから	お電話で	グランシップチケットセンター窓口で
http://www.granship.or.jp/ グランシップWEBサイトのトップページの「チケット」から、空席状況に応じて好きな席をお選びいただけます。(要事前登録、無料) チケットの受取 コンビニ(サークルK・サンクス、セブン・イレブン、ファミリーマート:手数料無料)、郵送(送料410円)、グランシップチケットセンターが利用できます。(予約日から7日以内)	グランシップチケットセンター TEL.054-289-9000 (営業時間10:00～18:30) チケットの受取 コンビニ(サークルK・サンクス、ファミリーマート:手数料無料)、郵送(送料410円)、グランシップチケットセンターが利用できます。(予約日から7日以内)	グランシップ内 チケットセンター窓口 (営業時間10:00～18:30) チケットの受取 お支払い(現金またはクレジットカード)後、その場でチケットをお渡します。

PRESENT 『GRANSHIP』vol.11 読者アンケートプレゼント

布施明サイン色紙

『GRANSHIP』vol.11のアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で2名様に8/6に開催された「グランシップ音楽の広場2017」のスペシャルゲスト歌手の布施明さんのサイン色紙をプレゼントいたします。官製はがきまたはメールで、住所・氏名・性別・職業・電話番号・アンケートのお答えをご記入の上、下記までお送りください。

【1】今号でよかった記事は？ 【2】本誌へのご意見・感想をお聞かせください。
アンケート内容は、今後の誌面作りの参考とさせていただきます。尚、頂いた個人情報はプレゼントの発送にのみ使用します。締切は2017年11月15日(当日消印有効)です。

官製はがき宛先	〒422-8005 静岡県駿河区池田79-4 グランシップマガジン『GRANSHIP』vol.11 プレゼント係
メール宛先	info@granship.or.jp (件名に、『GRANSHIP』vol.11 読者アンケート係 とご記入ください)

グラン シッ プ 友 の 会 法 人 会 員	〈特別法人会員〉 静岡ガス株式会社 鈴与株式会社 株式会社静岡新聞社 静岡放送株式会社
	〈一般法人会員〉 [Media] — 株式会社テレビ静岡 株式会社静岡第一テレビ 静岡エフエム放送株式会社 株式会社創碧社
	[Manufacture] — 株式会社タミヤ コカ・コーライストジャパン株式会社 株式会社伊藤園 ダイドードリンコ株式会社 丸茂電機株式会社 SUS株式会社
	[Service] — 株式会社ステージ・ループ 静岡県ビルメンテナンス協同組合 静岡信用金庫 株式会社ピーエーシー 株式会社イノウエテクニカ 株式会社日本平ホテル 株式会社コアズ 株式会社望月商事 学校法人常葉大学 株式会社東京企画装飾静岡 株式会社ニッセイコム 国立大学法人静岡大学 有限会社近藤リース

三島市出身の詩人・大岡信さんが提唱し、今年で18回目を迎える「しずおか連詩の会」。今ではしずおかを代表する文芸文化となっています。大岡さんの故郷で開催される今年は、12年ぶりに谷川俊太郎さんが参加。今号では谷川さんのインタビューを掲載しました。取材時、質問にひとつずつ丁寧に答える谷川さんからは、言葉にせずとも60年来の盟友であった大岡さんをそっと想っているように感じられました。3日間の創作期間では、参加する5人の詩人がそれぞれに大岡さんを想いながら時間を共有することでしょう。生まれたばかりの40編の連詩をはじめとお披露目する日、そこにいるからこそ体感できる特別な時間。是非三島の地に足を運んでみませんか。

編集
後記

グランシップ貸施設のご案内

＼本格的な国際会議にも対応！／
多彩なレイアウトを実現する会議ホール・風



スクール形式



馬蹄形式



シアター形式

グランシップ最上階に位置する2層吹き抜けのスペースを持つ会議ホールは、6カ国語同時通訳が可能な本格的国際会議場としての機能を有するホールで、最大約500席までご利用いただけます。

また、東側のスライド式壁面の開閉により、会議の合間に窓越しの富士山や日本平の景観も楽しめます。

耳より情報

会議ホールには、専用の控室が附属しています。
講師やゲストの控室、スタッフルーム等にご活用下さい。

国際会議、全国大会、
シンポジウム等、ケースに応じた
ご提案を致します。



(催事サービスグループ マネージャー 上條 圭輔)

●催事開催支援サービス

おもてなしのこだわり弁当からボリューム重視タイプまで、シーンに合わせてお選びいただけるお弁当メニューを一新しました。詳しくはHPをご覧ください。

●TOPIC

TwitterやFacebookで抽選受付開始情報や人気会場の空き枠情報を随時お知らせしています。ぜひフォローしてタイムリーな情報をご活用ください。
Twitter: @GRANSHIP_
Facebook: @granship.shizuoka



空き状況は
WEBでも
ご覧いただけます。

会議ホールのご予約は、使用開始日1年前の同月初日より
お電話にて承ります。

施設のご予約・サービスに関するお問い合わせ

(公財)静岡県文化財団 事業課 催事サービスグループ

TEL:054-203-5713 (受付時間9:00～20:00 ※休館日を除く)

FAX:054-203-6710

E-mail: yoyaku@granship.or.jp